

佐賀市民のスポーツに対する意識と活動の実態に関する調査 集計結果

I. 調査の目的

佐賀市スポーツ推進計画を策定するにあたり、市民の運動やスポーツに対する意識やそれらの実施状況を把握することを目的とする。

II. 調査概要

1. 調査対象者

18歳以上の男女2,000人（年代別、性別、居住地域別）

2. 調査時期

令和5年12月28日～令和6年1月19日

3. 調査方法

佐賀市住民基本台帳登録者のうち18歳以上のものを市町村合併前の市町村単位に区分し、その人口比率ごとに対象者数を算出。その対象者数に、年齢区分ごとの比率を乗じて各地区の男女別、年代別を対象者を算出した。そのうえで、住民基本台帳から対象者を無作為抽出し、郵送により調査票を送付。同封の返信用封筒により調査票の回収を行った。

4. 回収状況

送付数 2,000部

回収数 584部 回収率 29.2%

有効回収数 578部 有効回収率 28.9%

5. 調査結果の見方

アンケート質問項目については、原則として、本市が平成30年に実施した調査（以下、「前回調査」）と同じものを設定し結果を比較できるようにした。その他本市独自の項目を追加している。

グラフや表の数値は、全体か男女別の回答者数を100とした百分率（%）で表示している。

また、複数回答の場合に記載している、表中のM. T. (Multiple Total の略)とは、回答数の合計を対象者数で割った比率であり、比率の合計が100%を超える場合がある。

また、グラフや表の全体集計には性別不明の回答も含まれるため、男女別集計の合計と一致しない場合がある。また、年齢別集計で「10代」となっているのは、調査対象となる18・19歳のみの集計となっている。

なお、集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

Ⅲ. 調査結果の概要

1. 回答者の基本的属性について

男女比については、「男性」47.6%、「女性」52.2%で女性の回答が多い（図1）。年齢では、「70歳以上」が24.4%と最も多く、若い世代になるほど少なくなっている（図2）。

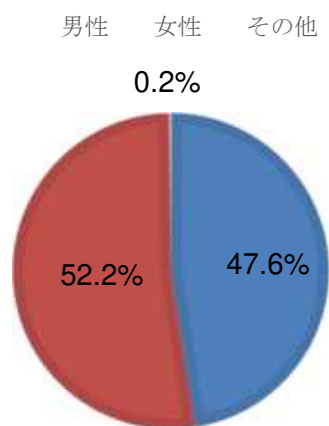


図1. 回答者の性別

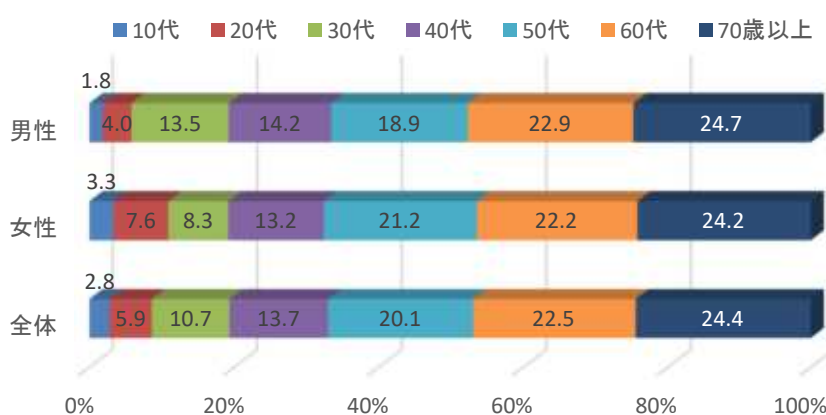


図2. 回答者の年代

回答者の居住地については、「全体」で見ると「旧佐賀市」が男女とも約7割の値を示し最も多いのに対し、「富士町」1.6%、「三瀬村」0.7%、「久保田町」1.7%と少ない値を示しているが、概ね佐賀市における旧市町別の人口構成比と同じ比率となっている（図3）。

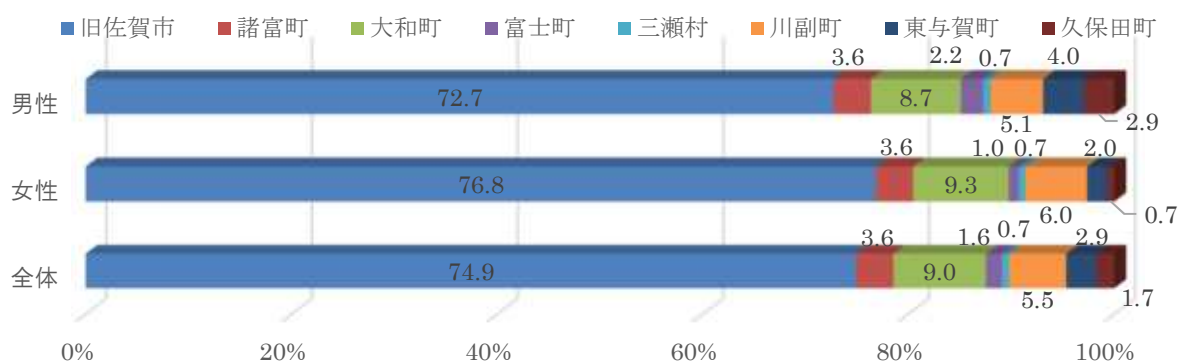


図3. 回答者の居住地

職業は、「お勤め（フルタイム）」が最も多く全体で28.5%となっている。次いで「お勤め（パート・アルバイト）」が22.7%となっている。「お勤め（フルタイム）」と「パート・アルバイト」をあわせると約半数となる（図4）。

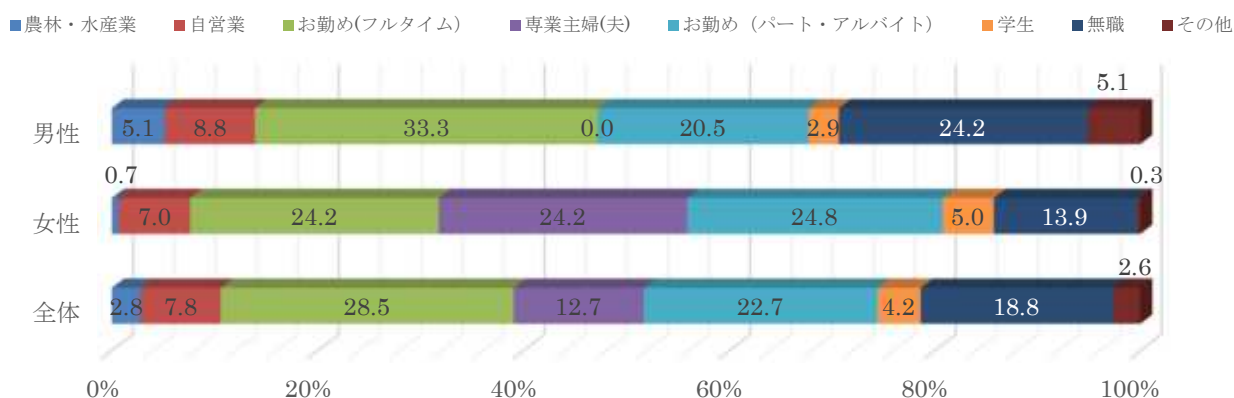


図4. 回答者の職業

2 『する』スポーツについて

普段、運動不足を感じるかという問いに対し、「大いに感じる」「ある程度感じる」が全体の78.3%であった（図5）。

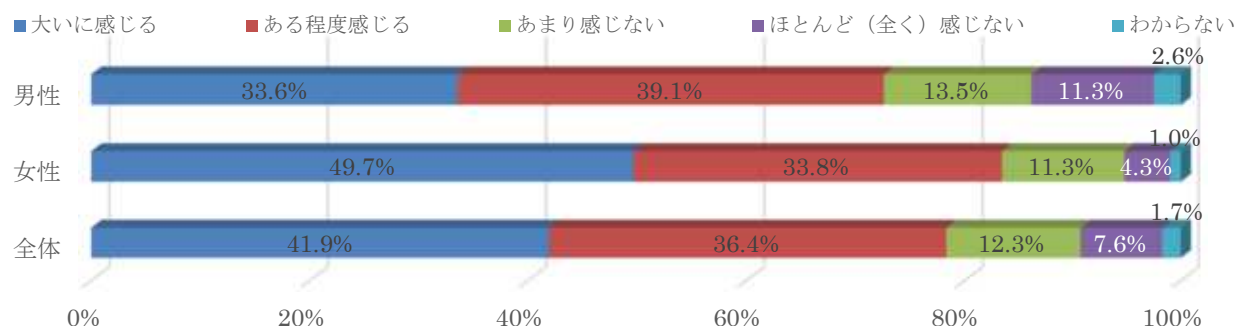


図5. 普段、運動不足を感じるか

しかし、運動・スポーツの実施頻度を見ると、「週に1日以上（「週に3日以上」＋「週に1～2日」）実施している人は、全体で49.1%、男性は52.0%、女性は46.6%となっており、前回調査と比較すると全体で7.4%増加し、男性で5.0%、女性については9.4%の増加となっている（図6）。

年齢別の実施頻度では、30代の実施率が低く、年齢の増加と比例して実施率の割合が高くなっている（図7）。

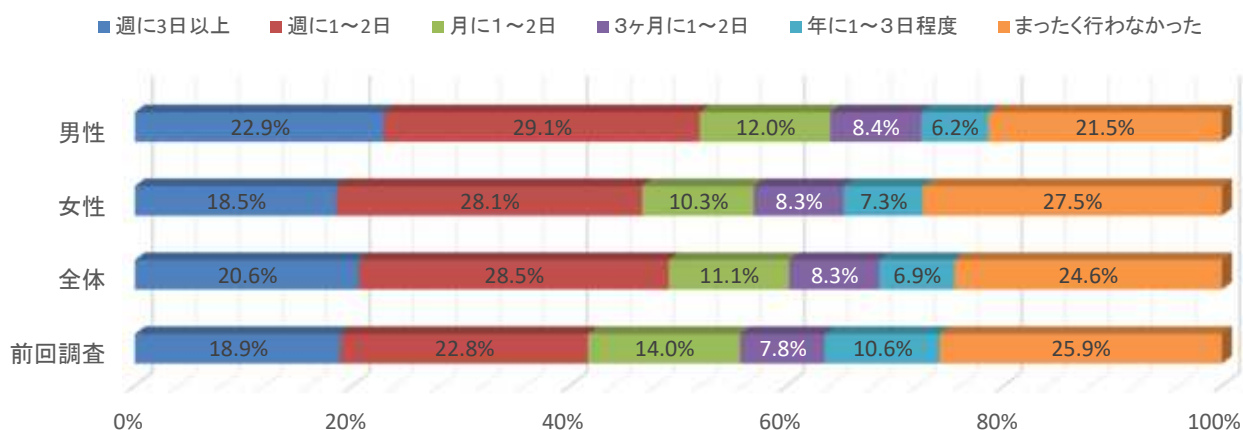


図6. 運動・スポーツの実施頻度（性別）

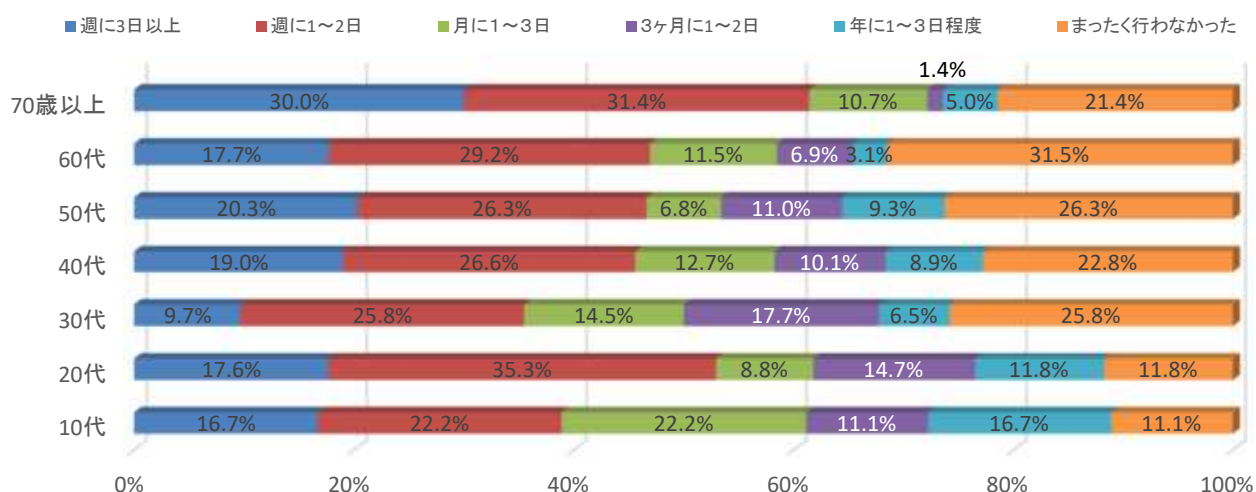


図7. 運動・スポーツ実施頻度（年代別）

運動やスポーツの実施日については土日が多く、特に男性はその傾向が高くなっている(図8)。

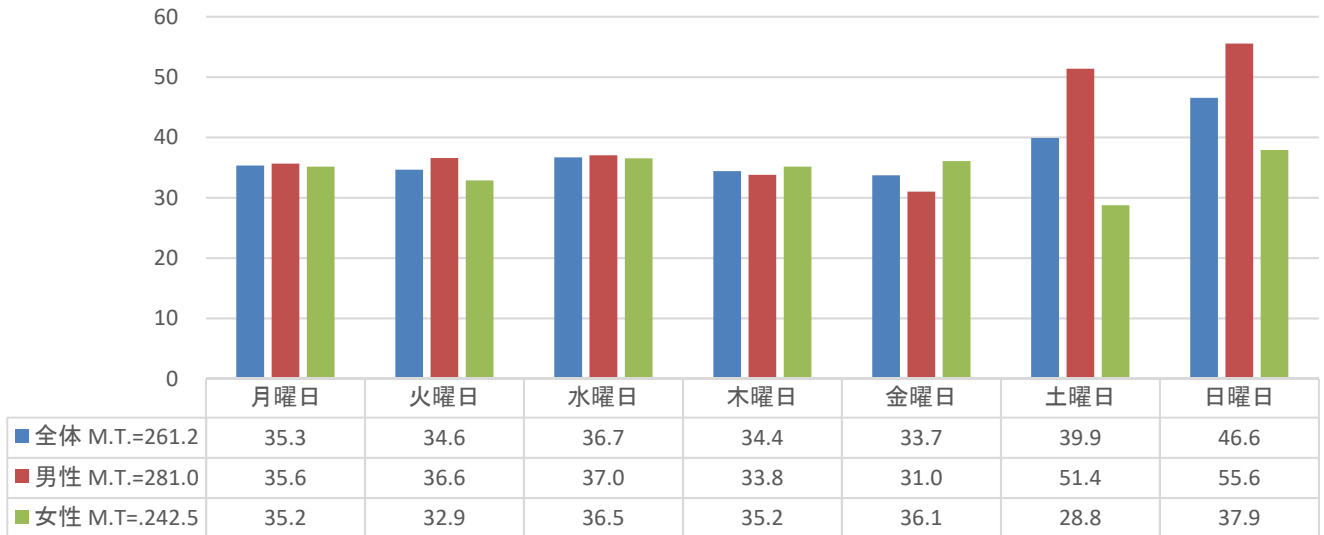


図8. 運動・スポーツの実施日

運動やスポーツを行う理由について見てみると、「健康のため」(全体：58.5%)が最も高い割合で、次いで「体力増進・維持のため」(全体：37.8%)「楽しみ・気晴らしとして」(全体：28.7%)となっている(図9)。

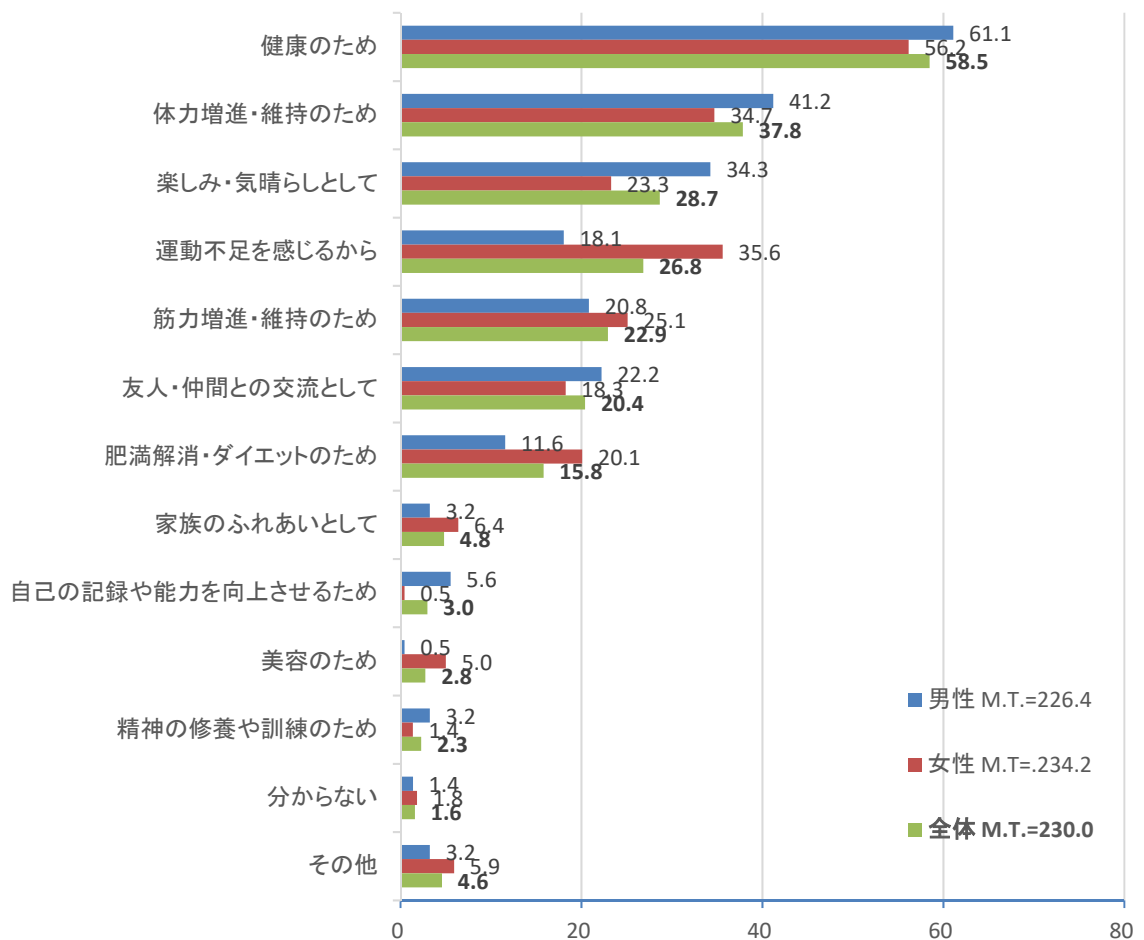


図9 運動・スポーツの実施理由

運動やスポーツを「週1回以上していない」理由は、男女ともに「仕事や家事が忙しいから」が非常に高い割合となっており、次に「生活や仕事で体を動かしているから」「面倒くさいから」が高い割合となっている（図10）。

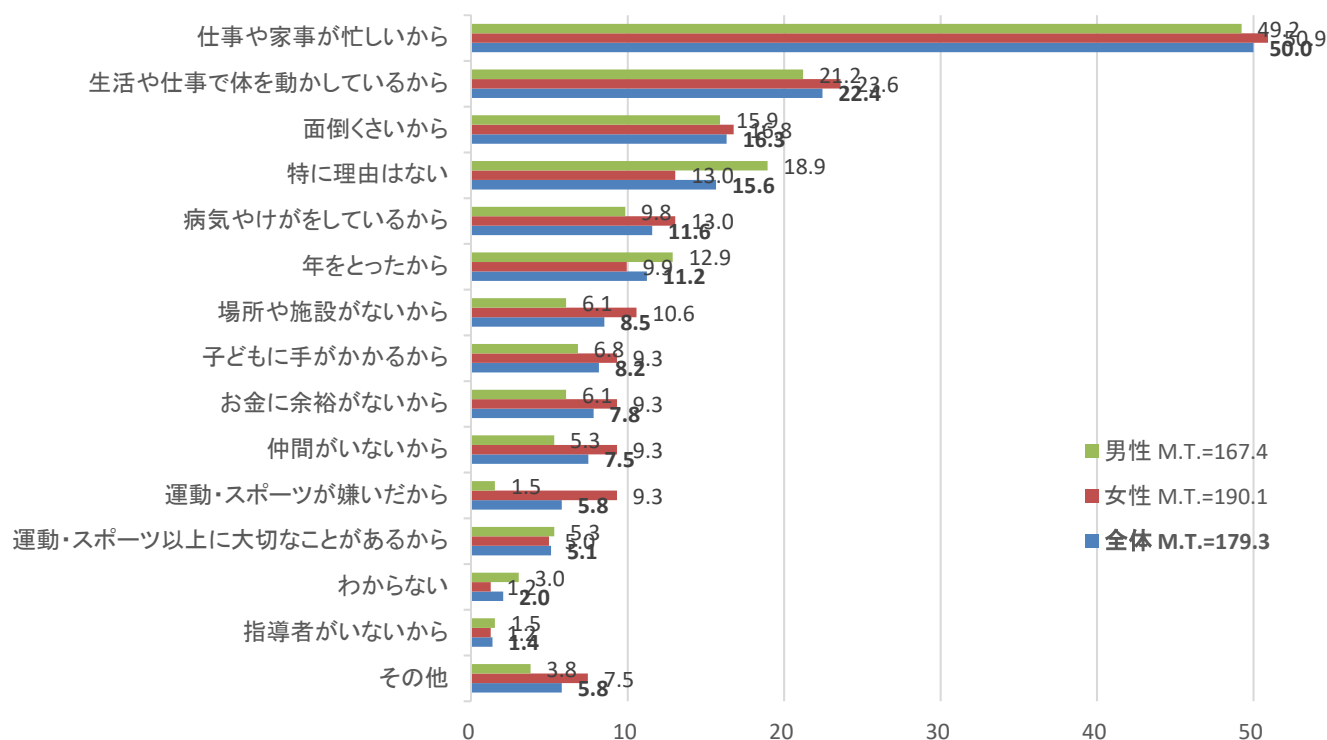


図10. 運動・スポーツを行わなかった理由

1年間に行った運動・スポーツの上位を前回調査と比較したところ、下表のとおり前回とほぼ同じ内容であったが、男性で「体操」が上位にあがり、女性では「ランニング」が上位になっている。その他、「水泳」など、個人で行うものや「グラウンドゴルフ」「卓球」など地域で身近に取り組むことができるスポーツが多い傾向にある。

全体	男性	(前回調査)	女性	(前回調査)
1位 ウォーキング (含,散歩)(72.2)	ウォーキング (含,散歩)(64.8)	ウォーキング (含,散歩)(53.4)	ウォーキング (含,散歩)(79.9)	ウォーキング (含,散歩)(60.5)
2位 ランニング(ジョギング)等(19.7)	ランニング(ジョギング)等(29.2)	ジョギング (18.6)	体操(ラジオ体操・美容体操等)(29.2)	ラジオ体操 (21.7)
3位 体操(ラジオ体操・美容体操等)(19.7)	トレーニング (17.6)	ゴルフ (17.0)	トレーニング (20.1)	ストレッチ (18.6)
4位 トレーニング (18.8)	ゴルフ(コースでのラウンド)(17.1)	トレーニング・ストレッチ(11.9)	エアロビクス・ピラティス(17.4)	トレーニング (12.8)
5位 ゴルフ(コースでのラウンド)(9.6)	体操(ラジオ体操・美容体操等)(10.2)	サイクリング・ラジオ体操(10.7)	ランニング(ジョギング)等(10.5)	ヨガ・ピラティス (10.9)

表1. 現在行っている運動・スポーツ

ニュースポーツ及び障がい者スポーツの実施経験種目についてみると、女性では「ミニバレーボール」の割合が高くなっている。どれも体験したことがないという回答が最も多い（図11）。

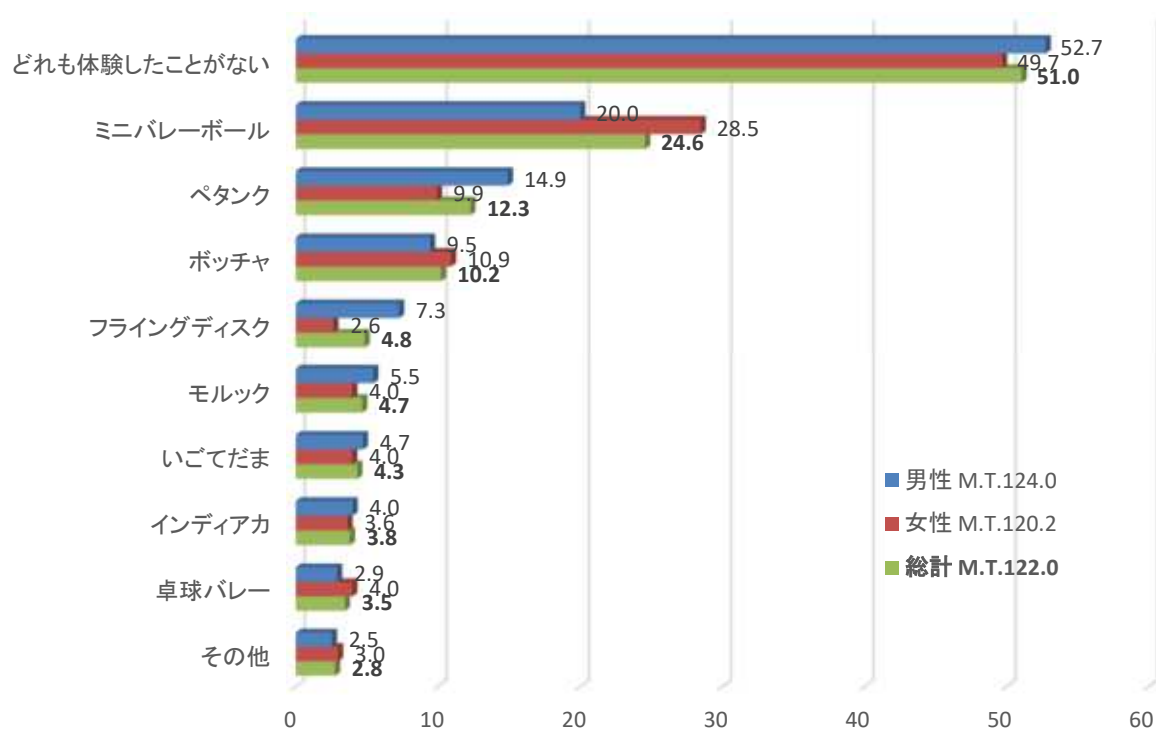


図11. ニュースポーツ・障がい者スポーツ実施経験種目

参加したいスポーツ行事について、全体では、「野外活動的行事」「レクリエーション的行事」「スポーツ教室」の順に高い割合となっているが、男性、女性ともにキャンプ・ハイキングなど「野外活動的行事」が最も高い割合を示している（図12）。

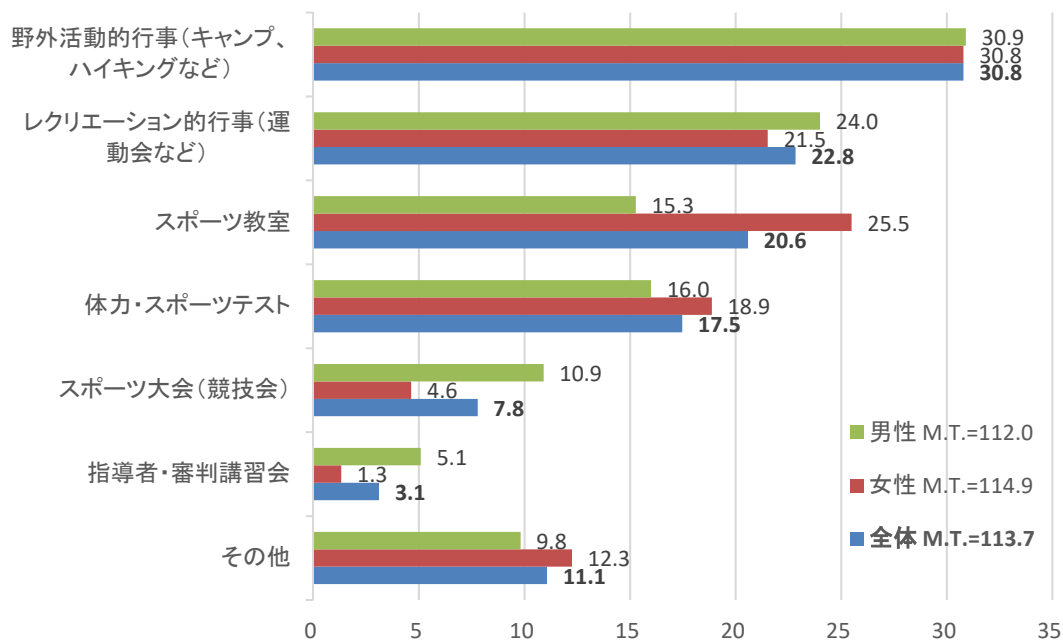


図12. 参加したいスポーツ行事

3. 『みる』スポーツについて

平均してどれくらいのスポーツ観戦（テレビ観戦含む）では、全体で「週に1時間以上」と回答した人が最も多く、男性では55.6%が週に1時間以上観戦している（図13）。

プロスポーツの観戦は、全体で「テレビ等（ラジオ、インターネット配信）で観戦したのみ」が66.4%となっている（図14）。

スポーツを観戦する意味合いは、「話題として必要」「生活を豊かにするために必要」の割合が高く、前回と同じ傾向であり、生活の中でのコミュニケーションの一部となっている（図15）。

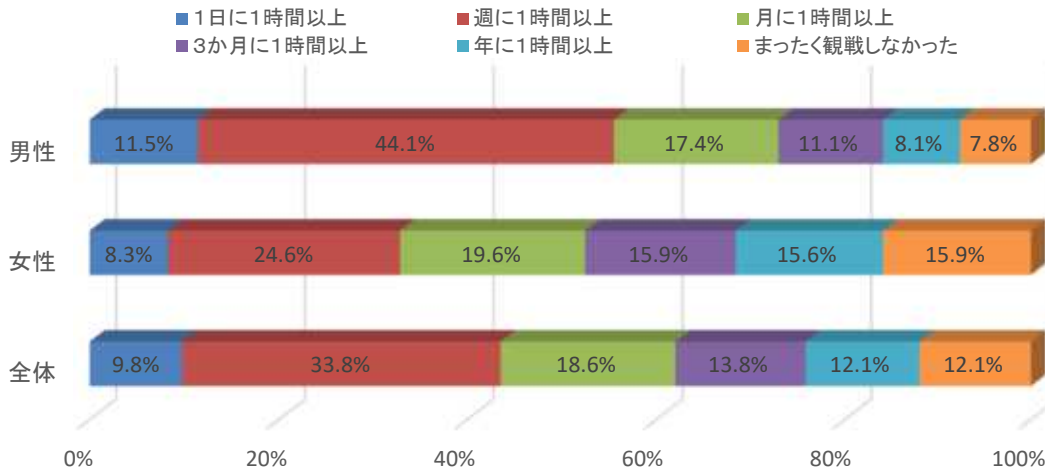


図13. スポーツ観戦時間

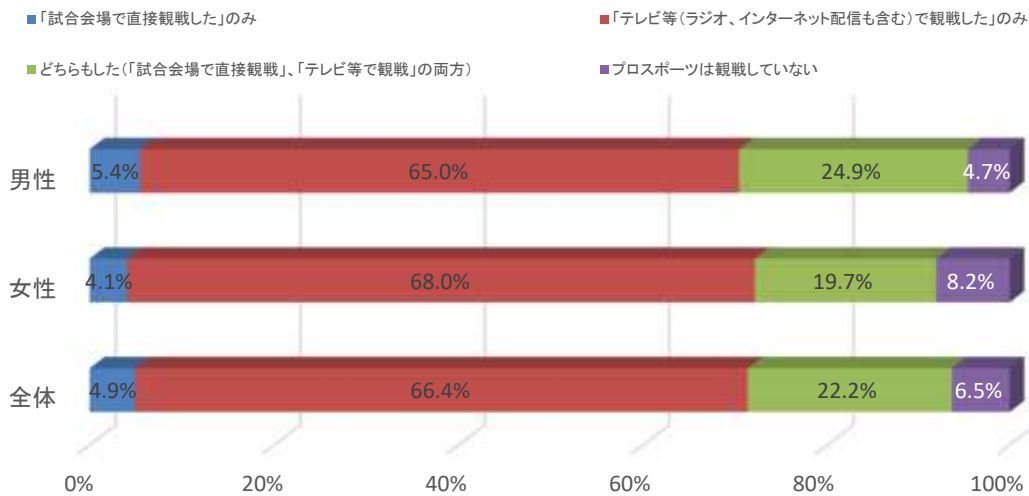


図14. プロスポーツの観戦方法

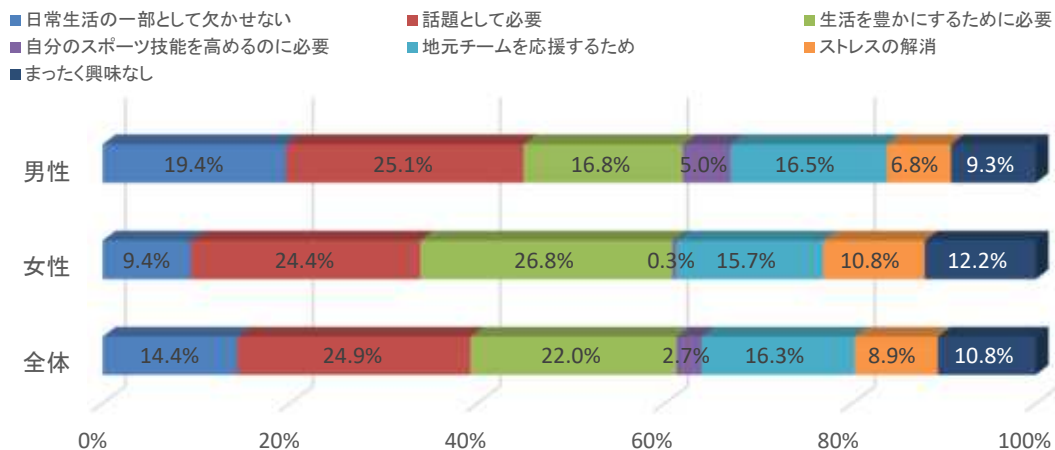


図15. スポーツ観戦の意味合い

プロ・代表チームや大学生などのトップレベルのチームや選手との交流の有無について、13.0%が交流したことがあると回答（図16）。男性が15.9%、女性が10.3%となっていた。交流したことがある方に、交流した内容を聞いたところ、「選手などによる講演会」が最も多く、次に「競技の教室（技術指導など）」が多かった（図17）。

理由を聞いたところ、「選手と関わりたいから」が最も多くの割合を占めていた（図18）。

また、合宿・キャンプ誘致について、積極的に誘致すべきとの回答が全体で63.7%（男性68.5%、女性59.5%）を占め（図19）、その主な理由として、「地域が活性化するから」「スポーツに関心を持つ人が増えるから」となっている。これらの割合は、男女比較しても同様の結果であった。なお、「誘致する必要はない」の主な理由としては、「興味がないから」「市民の施設利用が制限されるから」という回答があった（図20）。

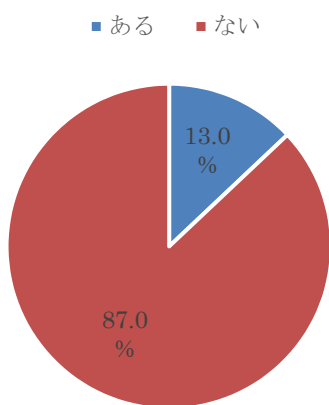


図16. トップレベルとの交流

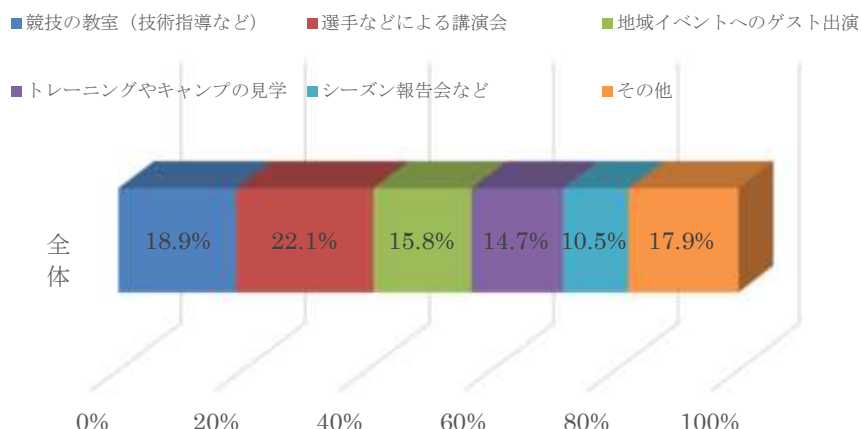


図17. 交流内容

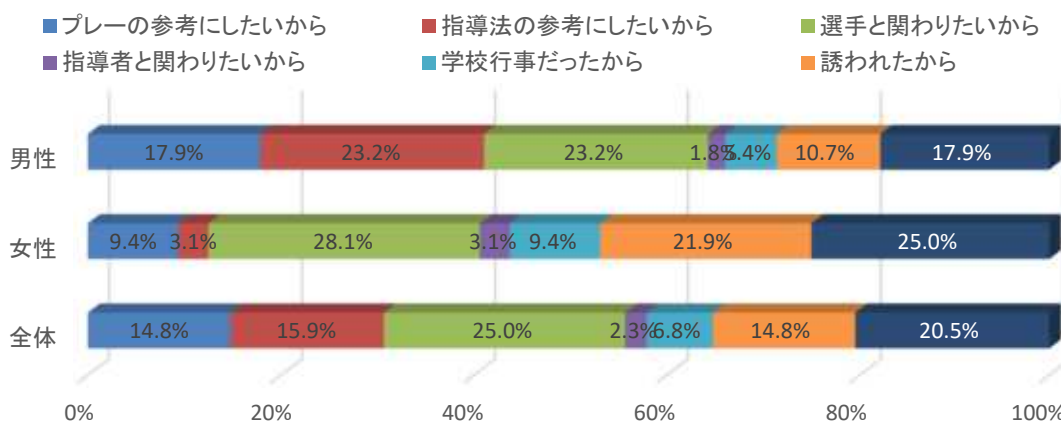


図18. 交流理由

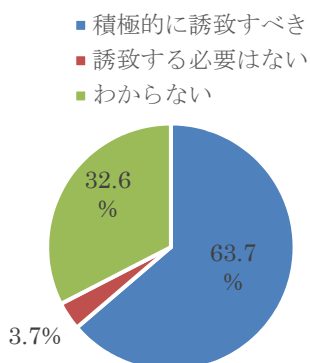


図19. キャンプ誘致の是非

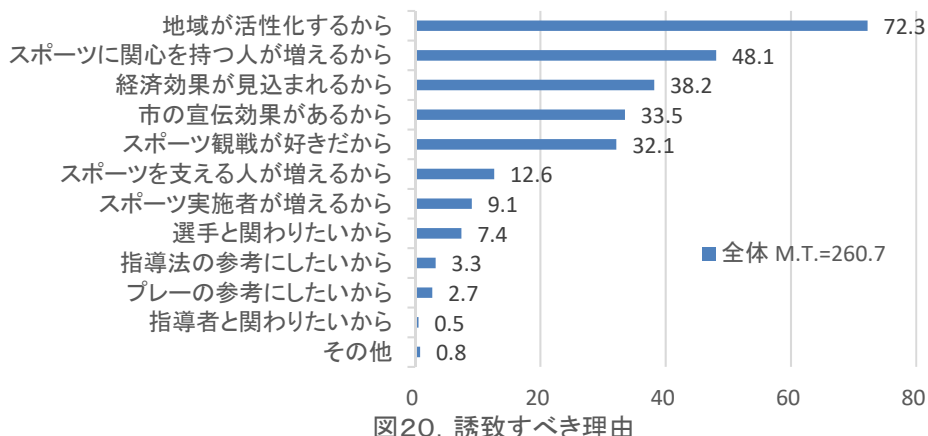


図20. 誘致すべき理由

☞ 「積極的に誘致すべき」と回答した人のその他の意見（一部抜粋）

- ・ 少年に夢を与えている
- ・ 県内中・高校生のレベル向上
- ・ 練習に集中できる環境（広い土地と良い建物）が整っているから

☞ 「誘致する必要はない」と回答した人のその他の意見（一部抜粋）

- ・ 誘致される方にメリットがあるのか
- ・ 個々の考えが違うから

4. 「支える」スポーツについて

佐賀市スポーツボランティア登録制度について、知っている人と回答した人が全体で15.0%と少なくなっている（図21）。

スポーツボランティア参加の有無については、「ある」と回答した人が全体で8.8%と前回調査と比較してやや少なくなっている（図22）。

スポーツボランティア参加の理由は、全体で「スポーツ関係団体から頼まれて参加した」が一番多くなっているが、「自ら応募した」が20.0%と前回より大きく増加している（図23）。

スポーツボランティアの感想は、「充実感があった」「楽しかった」といった好感を持った回答が多くなっている（図24）。

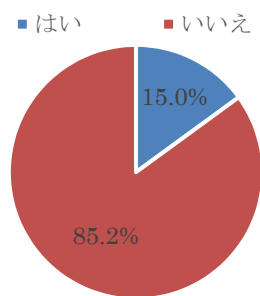


図21. スポーツボランティアの認知度

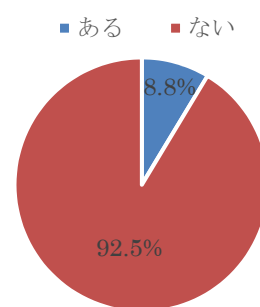


図22. スポーツボランティア参加の有無

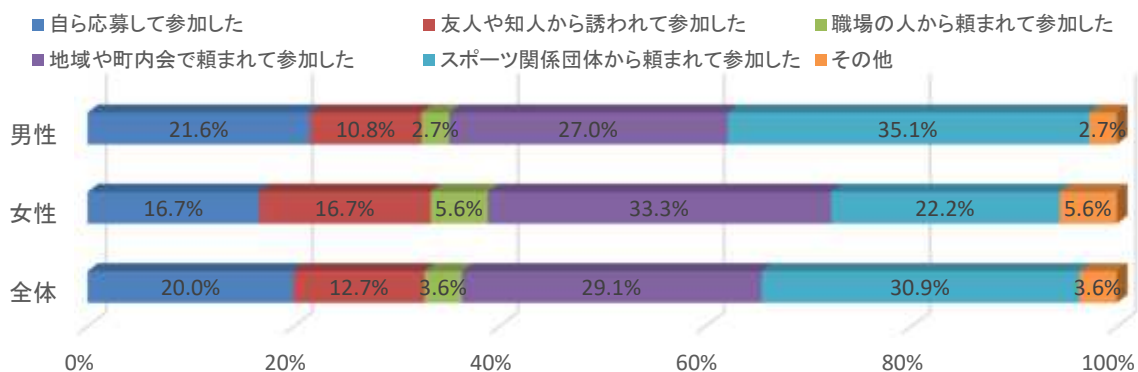


図23. スポーツボランティア参加の理由

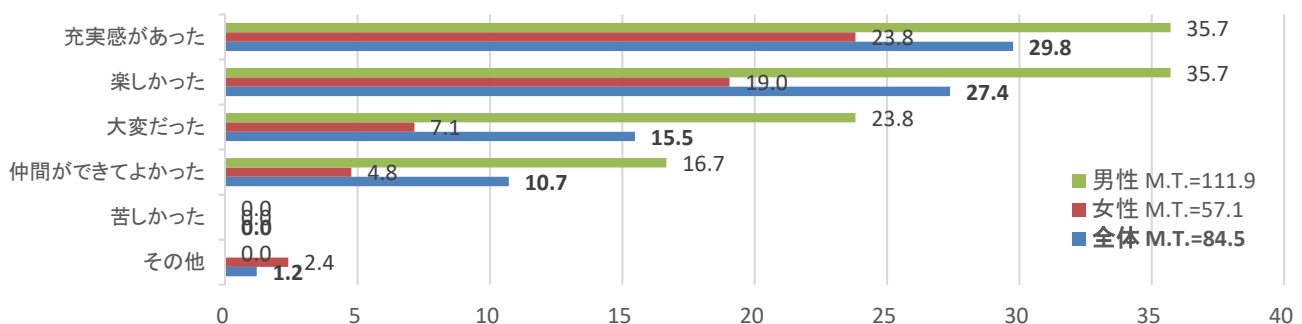


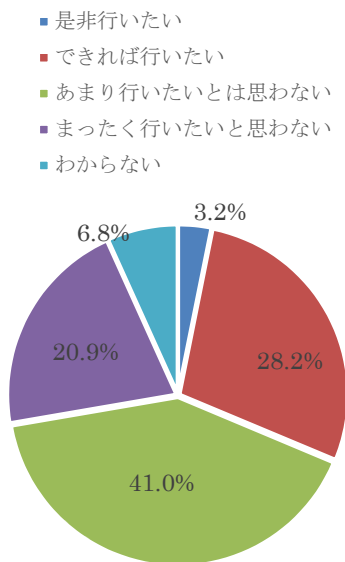
図24. スポーツボランティア参加の感想

📌 スポーツボランティアへ参加したことがない主な理由（一部抜粋）

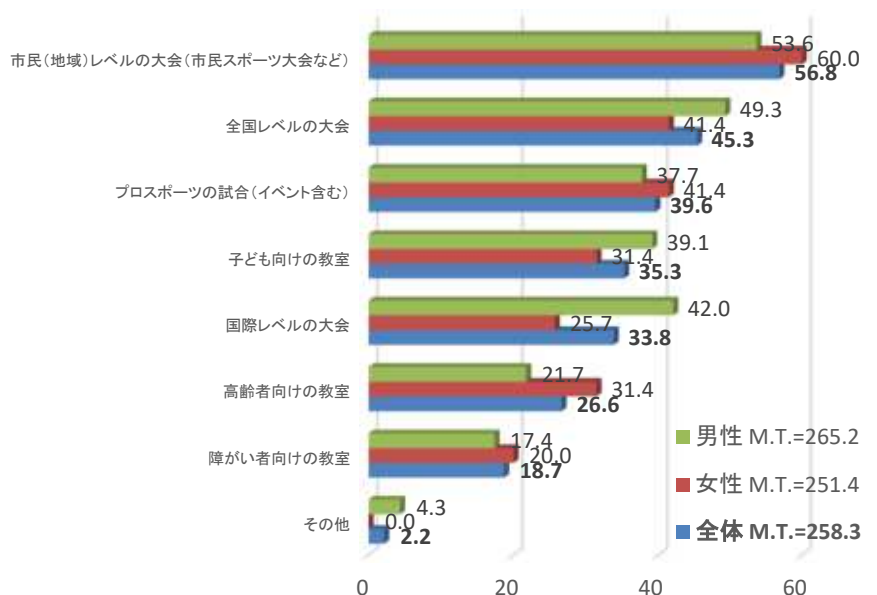
- ・ 時間的余裕がない
- ・ スポーツボランティアの存在を知らなかった
- ・ ボランティアはしたくない
- ・ 忙しくて、時間が取れない
- ・ 興味がない

スポーツボランティア活動への参加意識については、全体で「是非行きたい」「できれば行きたい」が31.4%となっており、「あまり行きたいとは思わない」が41.0%と前回から大きく増加している（図25）。

「是非行きたい」「できれば行きたい」と回答された方のうち、参加したいスポーツ・レクリエーション活動に対するボランティアは、「市民（地域）レベルの大会（市民スポーツ大会など）」が最も多く、次いで、「全国レベルの大会」となっていた（図26）。



問25. スポーツボランティアへの参加意識



問26. 参加したいスポーツボランティア

📌 スポーツボランティアへ「あまり行きたいとは思わない」「まったく行きたいとは思わない」主な理由（一部抜粋）

- ・ (スポーツボランティアへの) 興味がない
- ・ 時間に余裕がない
- ・ (高齢・病気等により) 体力面で不可能
- ・ 人が集まるボランティアに気後れする

5. 総合型地域スポーツクラブについて

総合型地域スポーツクラブの認知度について、「知っている」と答えた人は「全体」で7.7%と前回調査と比較して若干増加した。「初めて知った」も80.6%と前回調査より減少しており、認知度は前回調査よりも若干増加している（図27）。

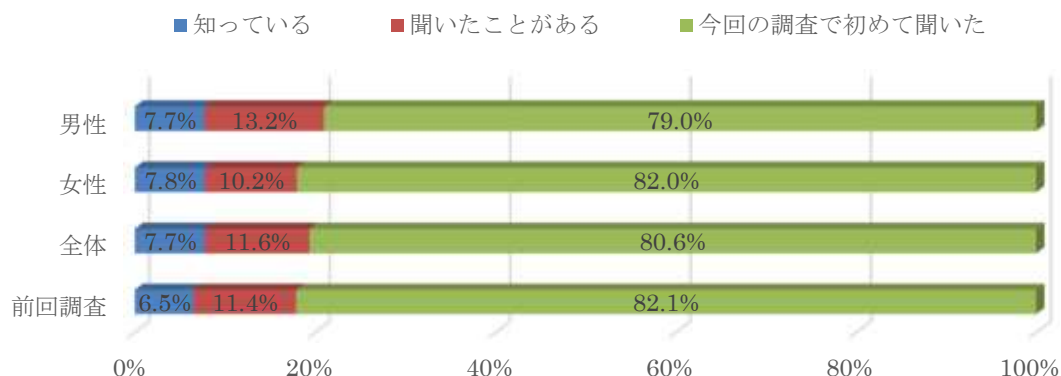


図27. 総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブへの加入意思については、全体で「加入している」が1.4%、「加入したい」が4.1%と非常に低い（図28）。

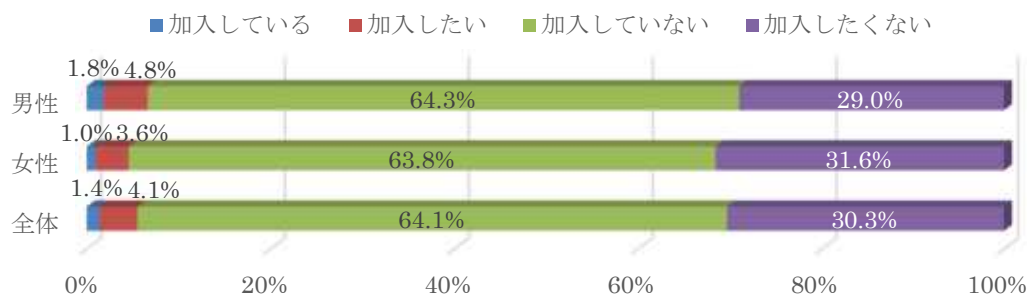


図28. 総合型地域スポーツクラブへの加入意思

「加入していない」「加入したくない」と回答した人の理由として、「時間がないから」が最も多く、運動やスポーツを行わない理由と一致している。一方で「きっかけがない」「情報がない」「活動内容がわからない」を挙げる人も多く、前回と同様に、クラブについての周知不足が要因となっている（図29）。

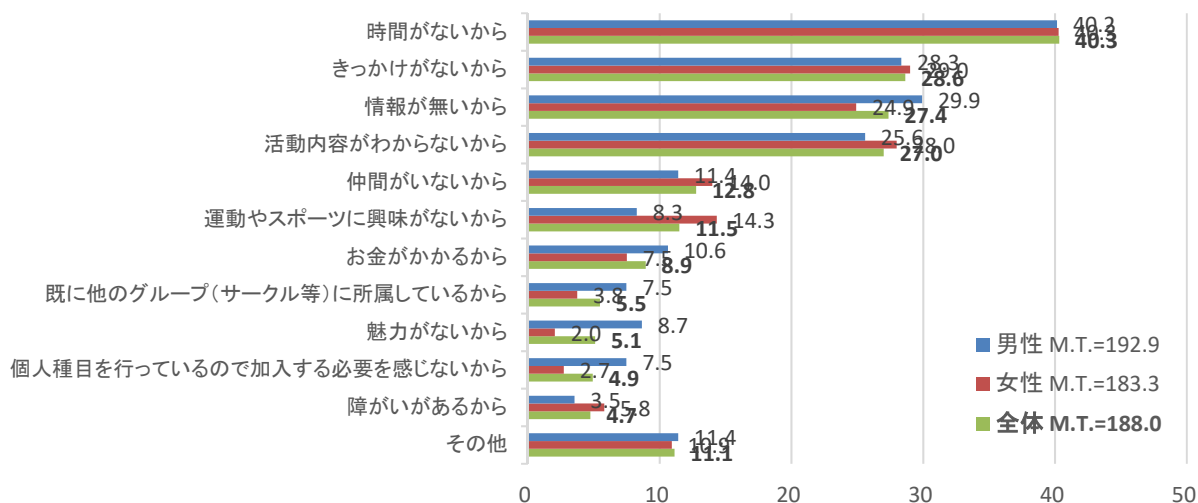


図29. 総合型地域スポーツクラブへ加入しない理由

6. 施設について

学校体育施設の利用については、全体の25.1%が「利用」もしくは「空き状況を確認したことがある」と回答しており、前回調査（30.2%）より下回っている。また、42.1%が「知っているが利用したことがない」と回答しており、「利用したことがある」「空き状況を確認したことがある」を含めると67.2%が知っていることになり、学校体育施設が利用できることはある程度周知できている（図30）。

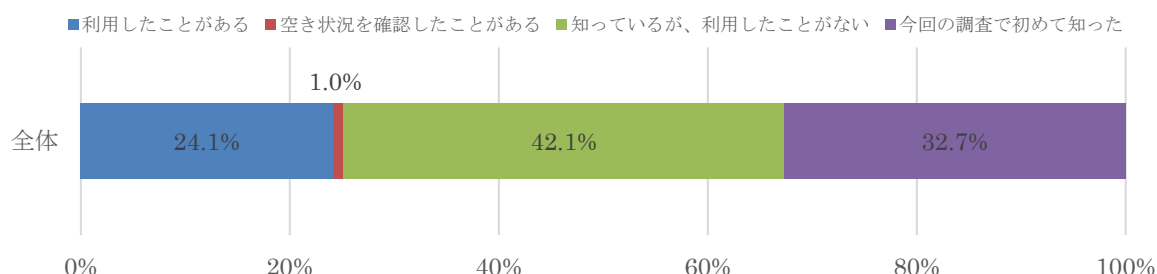


図30. 学校体育施設の利用

日頃、運動・スポーツを実施する場所としては、全体では割合の高い順に、「自宅・友人宅」「道路・空き地」「公園・広場」となっている。男性は「公園・広場」、女性は「自宅・友人宅」と比較的自宅に近い場所を利用している。また、前回調査と比較し、市立スポーツ施設、民間スポーツ施設ともに減少している（図31）。

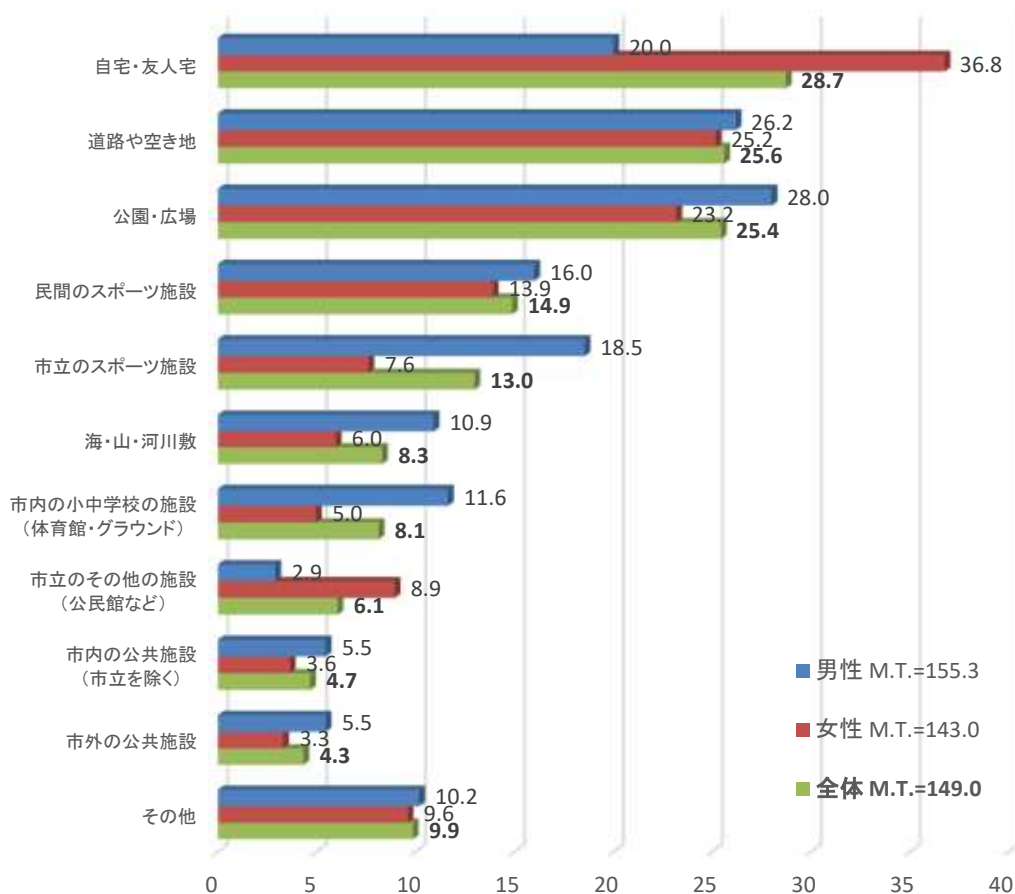


図31. 運動・スポーツの実施場所

運動やスポーツを実施する時間帯としては、全体、男性、女性ともに「午前（9時～12時）」がもっとも多く、前回調査で最も多かった「夜間（18時～以降）」を上回った（図33）。

■ 早朝(5時～9時) ■ 午前(9時～12時) ■ 昼間(12時～15時) ■ 夕方(15時～18時) ■ 夜間(18時～21時) ■ 深夜(21時以降)

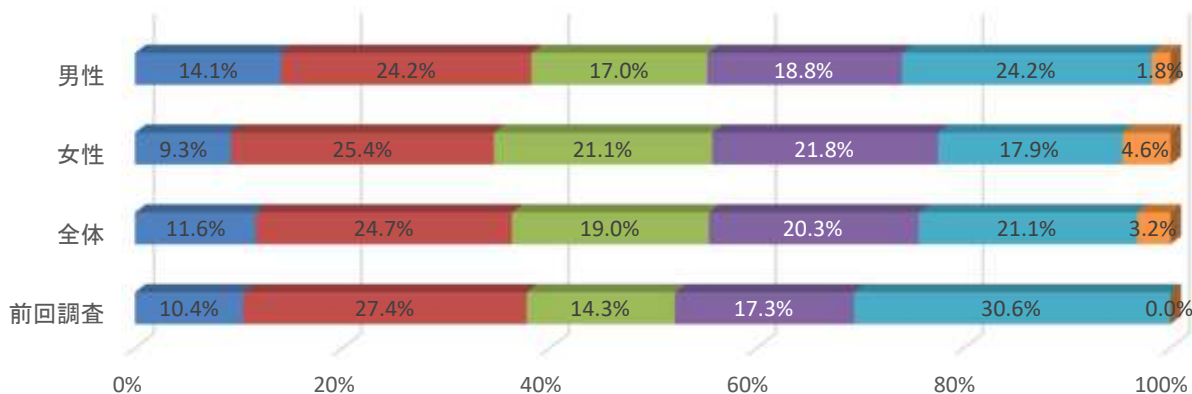


図32 運動・スポーツの実施時間帯(性別)

また、移動手段は「自家用車・バイク」が最も多い割合を占めた（図33）。

■ 自家用車、バイク ■ 自転車 ■ 徒歩
 ■ タクシー ■ 公共交通機関 ■ 家族による送迎
 ■ 家族以外の人による送迎 ■ その他

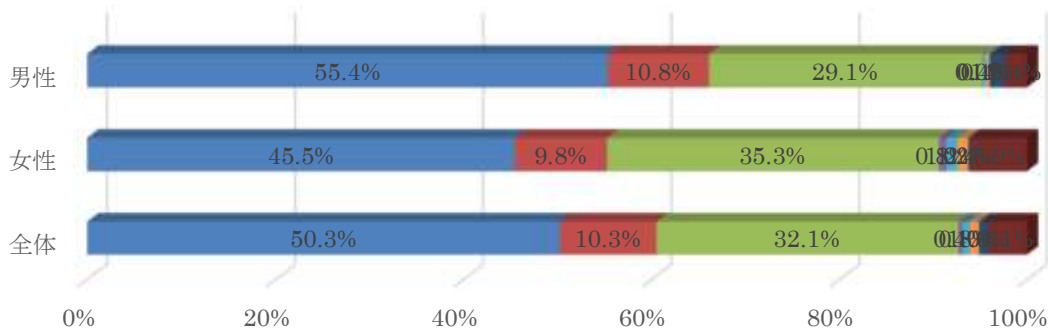


図33 運動・スポーツを実施する場所(施設)への移動手段

普段の運動やスポーツを実施している場所については、86.0%が「まあ満足」「非常に満足」と回答しており、否定的な「やや不満」13.1%、「非常に不満」0.8%の割合を大きく上回っている（図34）。

■ 非常に満足 ■ まあ満足 ■ やや不満 ■ 非常に不満

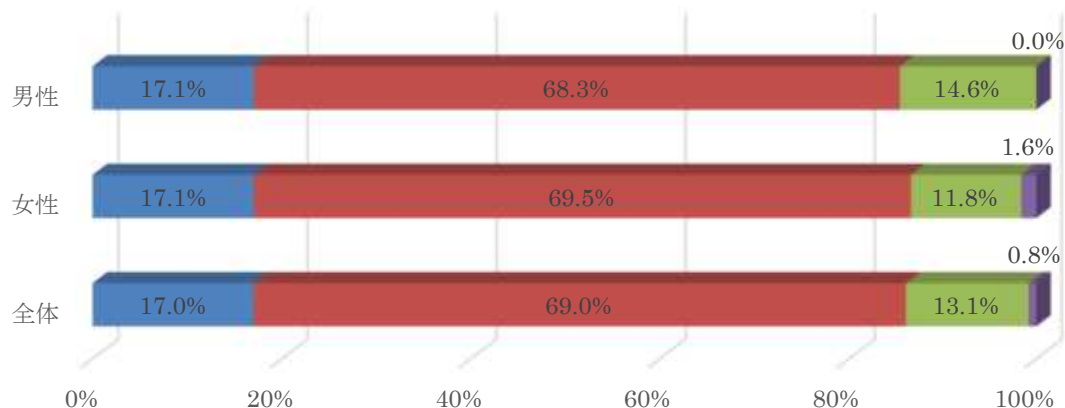


図34 運動・スポーツをする場所(施設)の満足度

普段、運動やスポーツを行っている場所（施設）への不満は、「家から遠い」という立地に対する回答が最も多かった。女性は「交通の便（アクセス）が悪い」「施設・器具等が古い」「利用料金が低い」という意見も多かった（図35）。

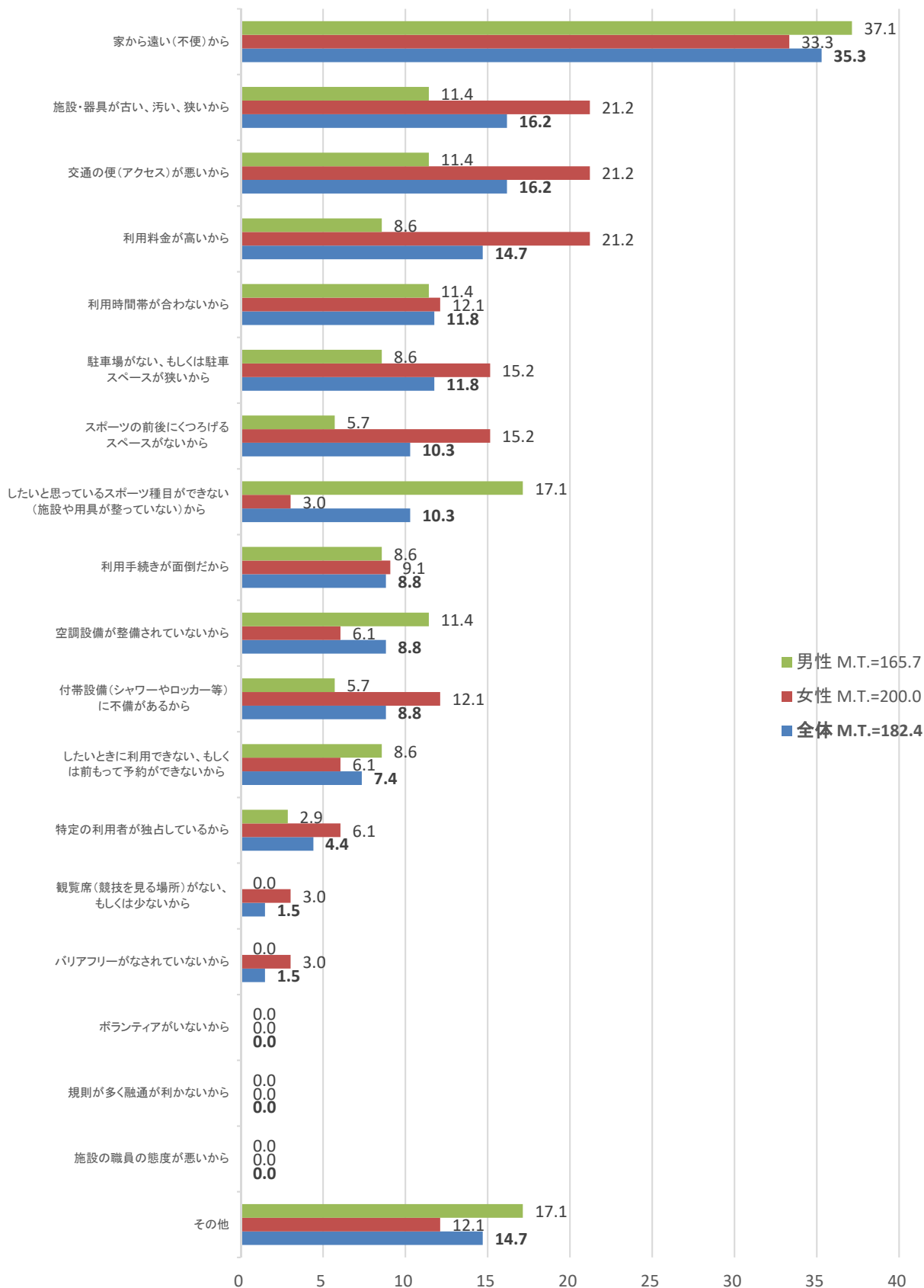


図35. 運動・スポーツをする場所(施設)への不満の理由

市立のスポーツ施設に対する要望としては、全体で「特になし」が多い。男女別では、男性が「ロッカー・シャワー室の整備」等設備に関する要望が高く、女性では「運動やスポーツ教室の充実」が最も高い。男女問わず「利用料金の引き下げ」も上位である（図36）。

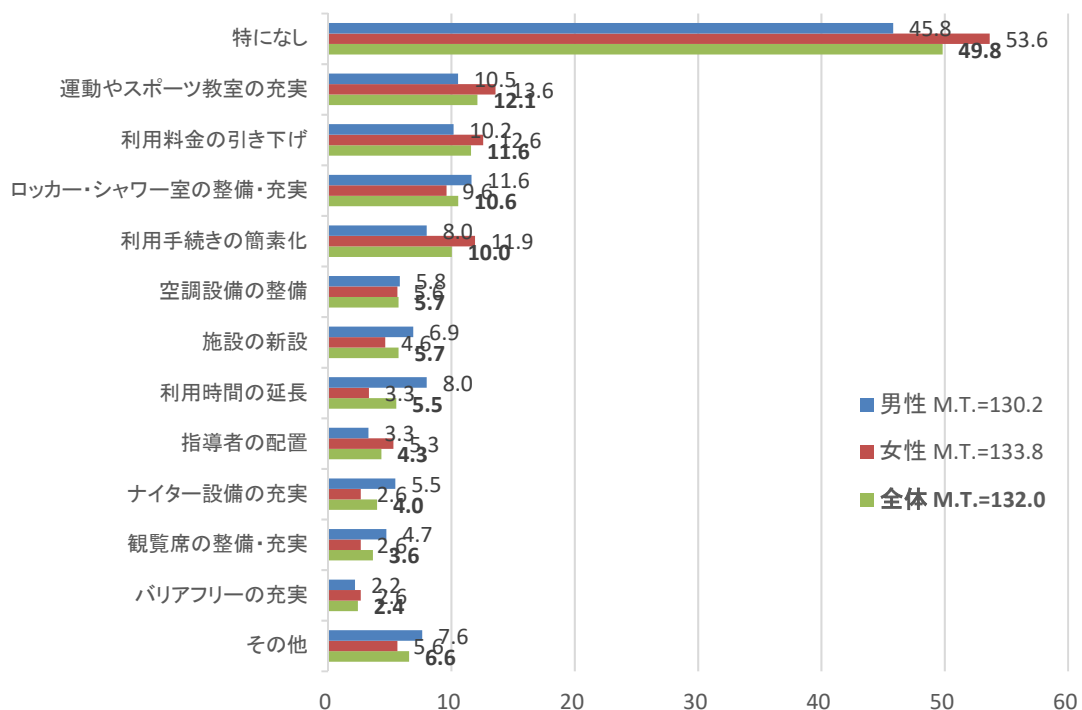


図36. 市立のスポーツ施設への要望

施設予約システムについては、「予約したことがある」と答えた人が「全体」で7.6%、「空き状況を確認したことがある」が3.7%となっている。

「今回の調査で初めて知った」の割合が28.2%、「使ったことがない」が60.6%と前回調査と比較しても認知度は低い状況にある（図37）。

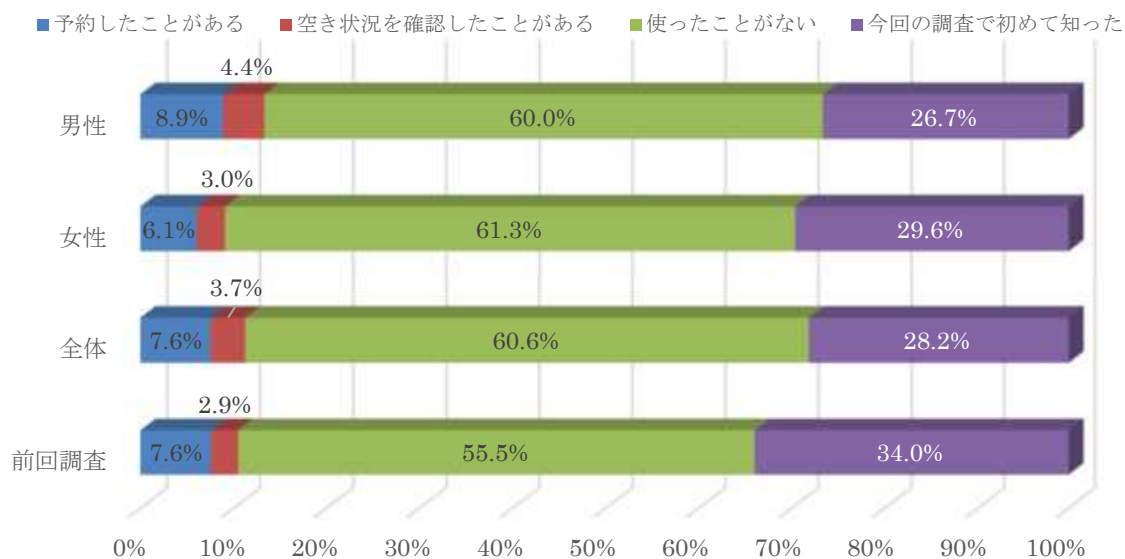


図37. 施設予約システムの利用

7. その他

(1) e-スポーツについて

e-スポーツ（エレクトロニック・スポーツ）」については、全体で82.3%が「知っている」「聞いたことがある」と回答しており、認知度は高い。男性のほうが、女性より認知度が高く、「知っている」「聞いたことがある」と答えた方が88.5%であり、女性の76.6%を大きく上回っている（図38）。また、スポーツとして捉えるかについては、「判断できない」が過半数を占めた（図39）。関心度は全体で20.6%が「非常に興味がある」「興味がある」と回答しており、形態としては「するスポーツ」「みるスポーツ」が過半数を占めている（図40）。

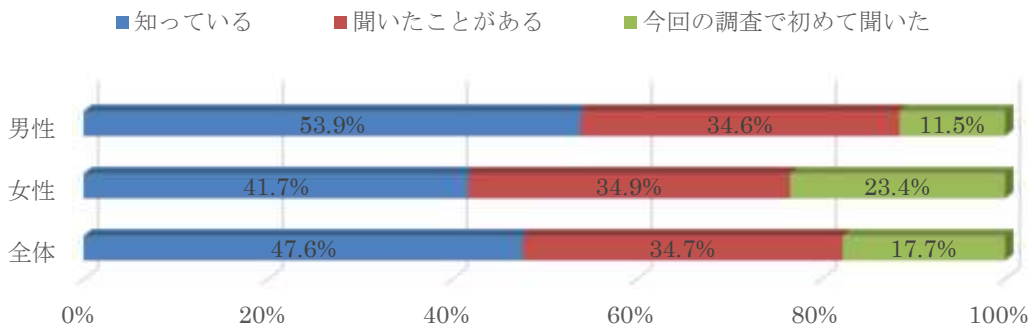


図38. e-スポーツの認知度

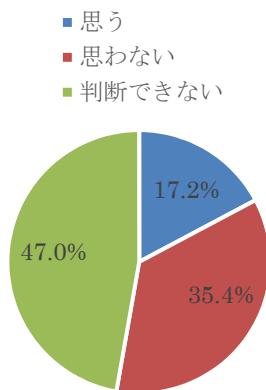


図39. e-スポーツはスポーツか

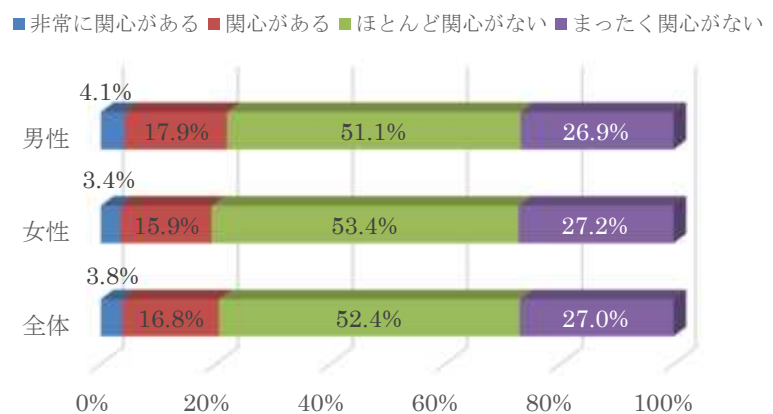


図40. e-スポーツへの関心度

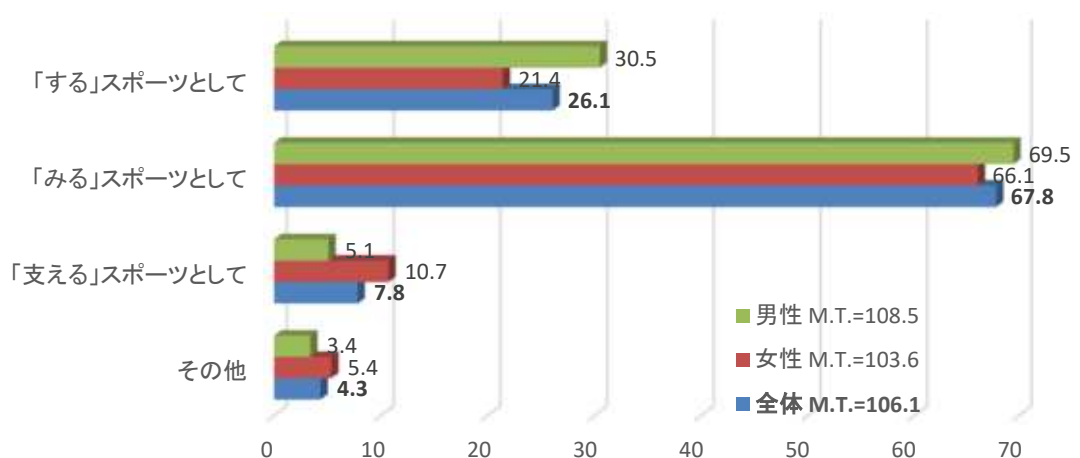


図41. e-スポーツへの関心の形態

(2)障がい者スポーツについて

障がい者スポーツについては、「非常に興味がある」「興味がある」が全体で50.1%となっており、男性のほうが若干関心の度合いが高くなっている（図42）。

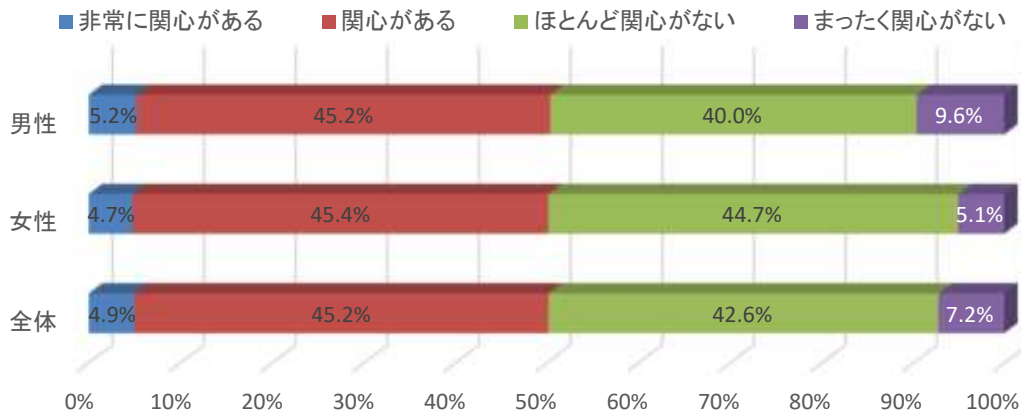


図42. 障がい者スポーツへの関心

障がい者スポーツに「非常に興味がある」「興味がある」と回答した人の関心の形態は、「みるスポーツとして」と「支えるスポーツ」が大半を占めている（図43）。

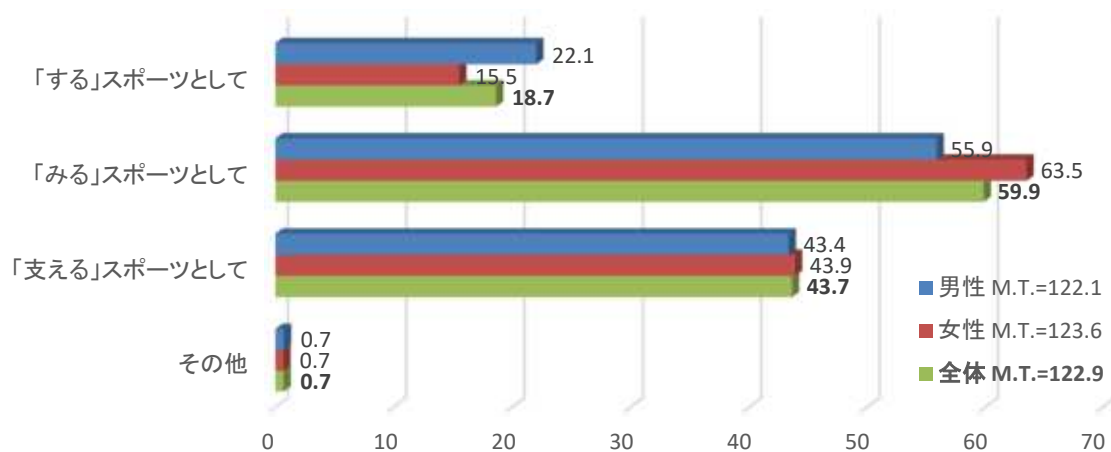


図43. 障がい者スポーツの関心の形態

(3)市のスポーツに関する情報の収集について

市のスポーツに関する情報収集手段として最も高い割合を示したものは全体、男性、女性において「テレビ」が最も多く、ついで「市報」が多い値を示している（図45）。

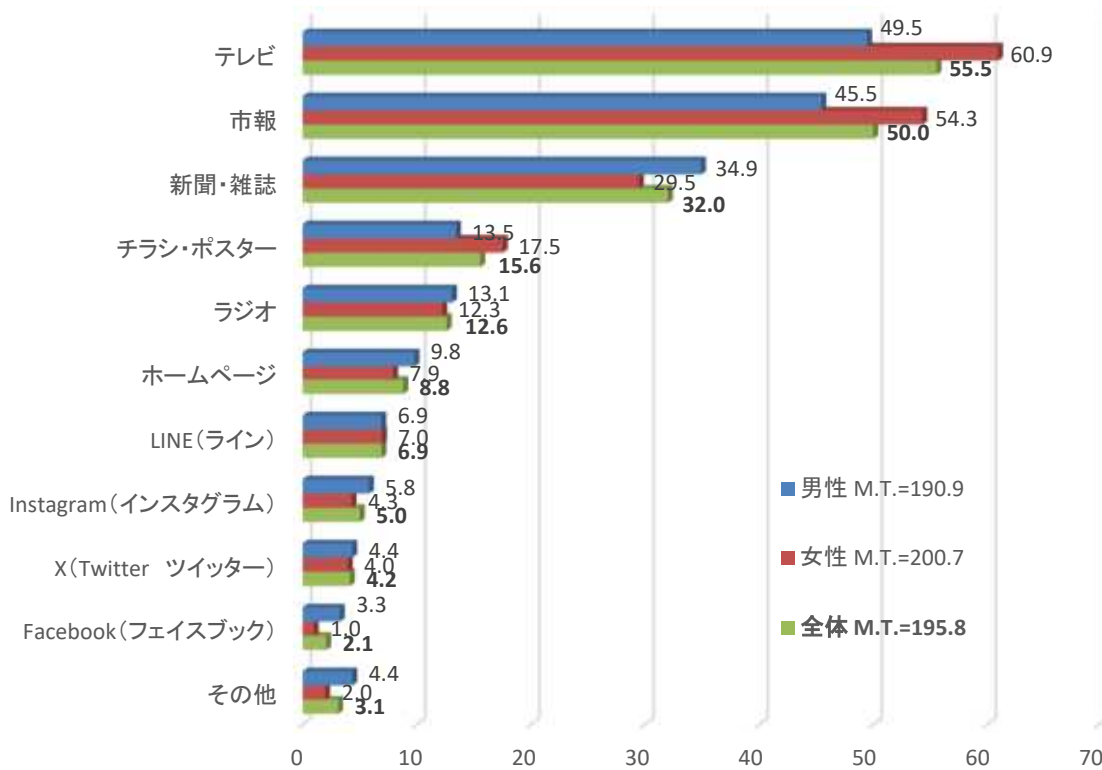


図44. 市のスポーツ情報の収集手段

(4) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

2024年に佐賀県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を控え、選手・チームの競技力向上のために最も重要なことは、「ジュニアアスリート発掘・育成事業の充実」となっていた（図45）。

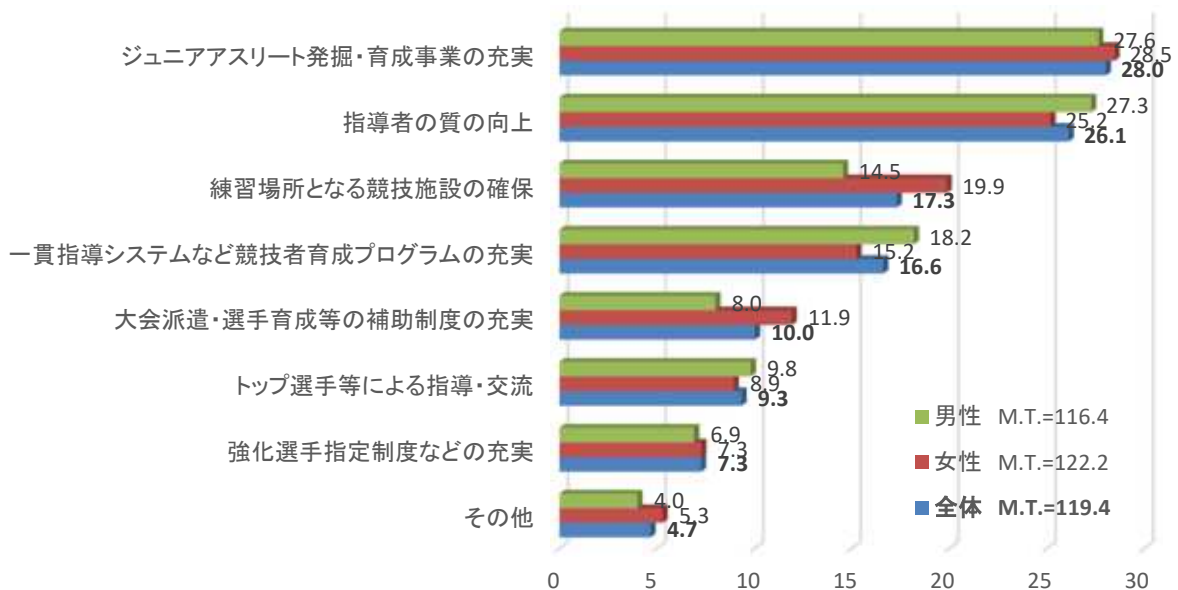


図45. 競技力向上のために最も大事なこと

(5) アーバンスポーツについて

佐賀市がアーバンスポーツを街なかで行えるように整備していこうとしている取り組みについては全体で賛成が45.8%、どちらでもないが43.6%と反対が非常に少ない結果となった(図46)。

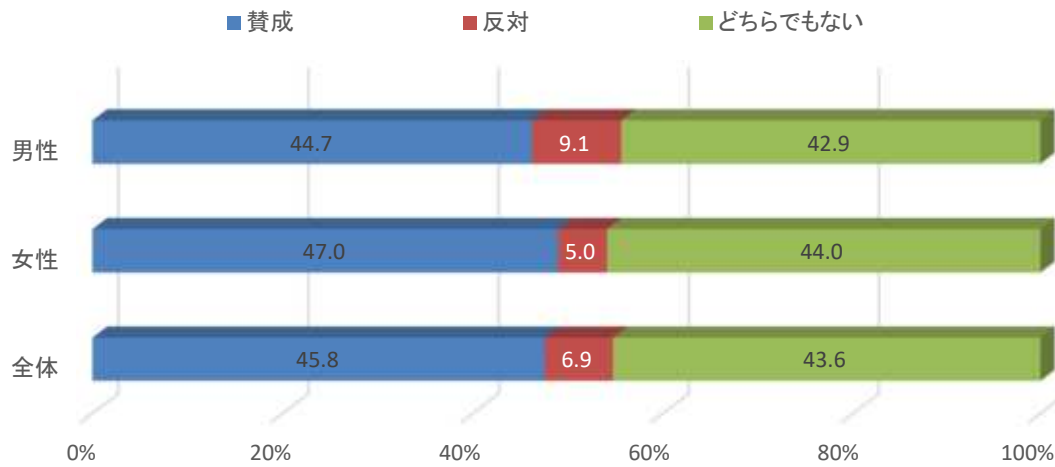


図46. アーバンスポーツの取り組み(整備)について

(6) 部活動の地域移行について

スポーツ庁(国)の方針として、学校運動部活動が地域に移行しようとしていることについて、どのような活動のあり方が理想か問いたところ、「専門的で丁寧な指導が受けられる」や「いろいろな世代や年齢の人と一緒に活動ができる」が多い値を示している(図47)。

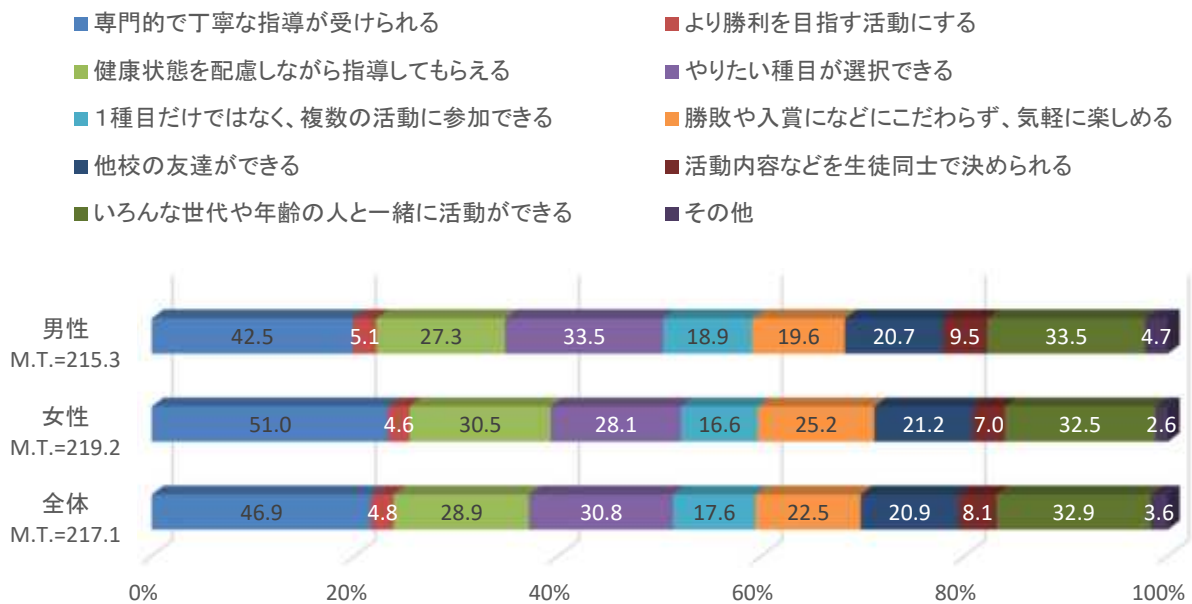


図47. 学校部活動地域移行の活動のあり方について

【自由意見】佐賀市のスポーツ振興についてのご意見（一部抜粋）※文面は記載のまま掲載

佐賀市としてのスポーツの取り組みを知ることが出来ました。2024年国民スポーツ大会ですね！小学6年生で金管バンド面汚立で開会式に出場したことは今も良い思い出です。一市民として協力、参加できることがあれば、市報などを見ていきたいと思えます。	女性	50代
勝利という目標に向かう選手家族の情熱が燃やせる。それを見た人が感動して地域に一体感が出る。負けても努力した結果であれば自分を認める指導の在り方。国スポ全障スポは地域が盛り上がる絶好の機会なので頑張っ佐賀市を盛り上げてください。	男性	60代
スポーツ振興に取り組まれているのをニュース等でも実感しています。とても良いと思っています。今後も計画的に広げてほしいと思えます。市の活性化にもつながるはずで。	女性	50代
何事もポジティブに向かいあって欲しい。スポーツはある意味、自分のメンタルにあるから団体、個人、すべての面で生かされるように。	女性	60代
地域に移行するという事で子供達同士の連携が失われないのか心配です	女性	70歳以上
参加するのは出来ませんが、若い人達が大いに活動されるのは素晴らしいと思う。活躍に期待したいです。	女性	70歳以上
スポーツは大切だと思う。戸外で汗を流す事皆で一つの事に心を合わせる事など協力する心を育てる	女性	70歳以上
年齢に応じた運動をお願いします	女性	70歳以上
国スポに向けて整備した施設を有効に活用してもらいたい	男性	60代
私はスポーツ系ではありませんが、アリーナもできて佐賀のためにもスポーツでもりあげていくことをのぞみます。アリーナでもいろんなアイデアで気軽にいけるところになればいいですね	女性	60代
SAGAアリーナができ、若い人のスポーツを見る機会が多くなると思えます。私は年なので体がついていきませんが楽しみです。	女性	60代
現在、佐野公園のグラウンドを借りてグラウンドゴルフを25人程度で行っておりますが、24年10月までで利用禁止と言われております。その後の練習場所はありません。体力づくり、交流のためにみんな仲良くしておりますが、10月以降練習場所がなくなるので、みんな困っております。何とか、みんなの話を一度聞いていただき、今まで通りの場所が提供していただけませんか。よろしくをお願いします。	女性	70歳以上
問48についてですが、私は悩みに悩んで③を選びましたが、全部必要だと思えました。	女性	70歳以上
魅力ある佐賀市となればよいと願っています、よろしくをお願いします。	男性	30代
小・中・高校生の駅伝を実現してください	女性	70歳以上
佐賀市公式アプリにスポーツを追加してください。市内にスポーツジムがないので近隣にあれば利用したい。	女性	60代

スポーツリーダーの資格なら持っています。小・中学生のスポーツ指導者の叱って教えるような昭和指導は変えた方が良くと思う。	男性	40代
一般向けの各スポーツ施設でのスポーツ教室の充実	男性	60代
ミニテニスのクラブに入っていたけど解散したので、今はウォーキングのみ。一人で出来るから気楽です。	男性	70歳以上
これからの佐賀県のスポーツ等に関わらなければいけないこと大変だと思います。頑張ってください。	女性	70歳以上
国民スポーツ大会が終了した後も、毎年大きな大会イベントを行うようにしたら盛り上がりが続くと思う。	男性	70歳以上
市民老若男女が気軽にスポーツに参加できるよう行政にお願いしたい。今のスポーツ行政は一部の人達のために道路、土地などをつかっている。	女性	60代
佐賀市は良く頑張っていますよ	男性	70歳以上
スポーツを夢を見るような過度な活動はしてほしくない。身体をこわしたり、(保護者) 家族の負担等。子ども達の人生を左右するぐらいの影響がありそうで心配です。	女性	70歳以上
佐賀市は野球の割合がまだまだ多く感じます。色んな競技に力を入れてみてください。	男性	50代
佐賀にはいろいろなスポーツのトップチームがあります。その選手たちとの交流をおこない、練習方法やメンタルトレーニングなどを色々な世代に伝えていくことで、レベルの向上につながるのではと思います。	男性	50代
スポーツ施設周辺の駐車場不足	男性	70歳以上
特にこれから高齢者も増えてくるので、病院通いより町ぐるみの簡易な運動イベントが継続してやっていくと良いと思います。	女性	60代
佐賀市の取組は良いと思います。情報発信を強化して欲しい。	男性	20代
佐賀県はスポーツ全般に力を入れていると思うので、これからも一層頑張ってください	男性	50代
気軽にスポーツを行えるように公園等の整備があれば良いと思います。 (トイレが清潔か、見通しが良い。防犯面で安心、明るくクリーンな安全な場所等) ただの広場ではなく、飲食ができる場所(室内)があると家族や友人もつきそいやすいと思います。(江北のみんなの公園や波佐見のヒロツパのような)	女性	30代
みんなを取り残さないスポーツへ。競い合いも必要。駐輪所整備。出入りしやすいように。一人スポーツ。	女性	70歳以上
SAGA2024国スポは、名前が変わり佐賀県で実施されるようですが、無事に何事もなく開催されることを祈っています。	男性	70歳以上
他県との交流で色々なことが学べ、指導する側にも学ぶことができる為に、佐賀市内に安く宿泊できる合宿所などを作ってほしいです。私は広島から佐賀に来て、現在外部の指導員をさせてもらっていますが、格安で宿泊できる場所がないので、広島の先生たちに声を掛けられません。	女性	40代

保護者に負担がかからないような、青年の家のような場所があれば佐賀に遠征に来てもらえるのと思っています。(中学生～大学生まで利用できる) 増やしてもらいたいです。		
SAGAアリーナの周辺にどうして駐車場を設けなかったんですか？駐車場がないなら利用できません。知事や関係者はバカですか。	男性	50代
施設や設備の充実化をしてほしいと思います。(アクセスも含む) 駐車場や自転車でも行きやすいようにする等があると更に取り組む人もいるのでは？	男性	40代
スポーツが苦手な方も振興に参画しやすいようにニュースポーツへの取組や様々な人、世代が気軽にチャレンジできるような雰囲気づくりをあわせて行ってほしいです。	男性	40代
私もですが高齢化社会のため、高齢者が気軽に参加できるリズム体操、ストレッチ体操などで施設を利用できたら良いと思いました。	女性	50代
駐車場などの整備をキチンとしたうえで、安全を第一に環境づくりを進めてほしいと思います。本当に参加したい人が参加しやすいように、また、参加したいと思えるように考えて欲しいです。	女性	40代
プロ以外の選手にもサポートが欲しい	男性	20代
子育て世代が大人も子供も一緒に楽しめる場所を作ってほしい	女性	60代
アーバンスポーツのストリート系のスポーツは”見た目(服装など)”がよろしくないイメージがあるので、厳しいルール運営が必要と思います。(利用時の清掃、礼儀、時間厳守など) そこからイメージアップでやっていくのが良いのではないかと思います。	女性	50代
スポーツは地域を活性化するために、なくてはならないものだと思います。まずは「みる」ことから積極的に参加しています。	女性	40代
小さい子どもがいるとなかなかスポーツができません。バルーンズがやっているスポーツ教室も平日しかないなので、土日で子供と一緒に、または預けてできるスポーツ教室があれば良いと思います。	女性	40代
無料なら色々なスポーツに参加したいです。	女性	50代
年をとっていく私達にとって、運動はとても大事なことだと思いますが、子育てが終わったら親の介護や孫の世話など。でも、自分で時間をみつけてサークルなどに行かなくては。後はウォーキングぐらいです。ウォーキングしやすい道や場所が近くにあればと思っています	女性	60代
佐賀県の人材育成に力をいれたいと思っています	女性	20代
スポーツは社会基盤作りとして考えると重要なものだと感じています。スポーツ振興課のみなさん頑張って下さい。あなた方を応援しています。	男性	50代
スポーツフェス等民間が気軽に参加できる催し事があれば良いな。フェスでは難しいなら市内の色々な催し事にブースを設ける等でも良いと思う。スポーツにふれる機会があったら良い。未経験の子供たちに体験させてあげられる機会もあれば尚良い	女性	40代
佐賀に来て思ったことは、スポーツに良く関わっていると感じました。アリーナも行きましたが大変良かったです。スポーツは体を動かすし心	女性	40代

にもいいです。今の若者も沢山してほしいですね。昔はラジオ体操とかあったのに、それすらない。		
国民スポーツ大会（佐賀県）2024年成功を祈ります。	女性	70歳以上
少子高齢化、多社会の中、現実には佐賀県も高齢化率も伸びている。このため、より盛り上がるためにPRしてほしい。	男性	70歳以上
アーバンスポーツが街なかで行うようになると、子どもはすごく楽しくなると思うが、道路とかでもスポーツをやるようになる子がいないといいなと思う。下校途中の子どもがボールで遊びながら帰ったりしてて、そこを車が通っているのを何度も見てる。地域住民や交通の安全性も子どもたちに教えていかないといけない。スポーツを通してそれができるといいよね。	女性	20代
継続可能な取り組みをしていただきたい。県との協力も必要であるが、思いつきのような県の方針に左右されず、市独自の方針を期待する。	男性	60代
スポーツを通して市の経済発展や人口増加などの良い効果について目指す理想像を佐賀市は市民にアピールして欲しい。（もし、スポーツ振興に多額の予算を充てるなら）	男性	30代
競技力向上にのみとらわれない。全市民にメリットを与えられるスポーツ振興。私権の絡みのない本当のスポーツ振興。	男性	60代
グローバルなスポーツで日本が遅れている。種目への取り組みも必要。	男性	60代
佐賀は県の大きさに対してスポーツは全国的にも頑張っていると思います。特に佐賀工業や商業、清和、北稜、学園等の高校の部活動の活躍は本当に素晴らしいと誇りに思えます。中・高校生等若い人達がスポーツをやりやすい環境づくりを手助けできればと思います。（指導者や予算等）また、強くなくても、健康のために楽しめるスポーツを運動が苦手な若い子ども達にもやってもらいたいです。今の学校の部活動では、勝つことに重点がかかり過ぎているように感じます。	女性	70歳以上
e スポーツがスポーツならば、パチンコもスポーツとして認めてもらいたい。ちゃんとした球技だ。	男性	50代
なかなか新しい所に入りにくい	女性	70歳以上
保健体育の先生が増えるだけではないか。低所得層を助けることが第一である。スポーツは二の次である。	男性	60代
他県から引っ越してきたので、余計比べてしまいますが、例えば体育館でのスポーツ教室の種類が少ないなどあります。	女性	60代
SAGAアリーナでのスポーツ観戦の際にサンライズパークの駐車場を開放して欲しい。佐賀駅周辺やアリーナ周辺の商業施設での無断駐車が増え迷惑をかけているため	女性	20代
有意義なアンケートだと思います。佐賀市民の未来のスポーツ、体づくりに頑張ってください。	男性	70歳以上
小・中・高の部活動の指導者の育成が必要。複数人の指導者が必要で、	男性	40代

勝敗、入賞などにこだわらず、気軽に楽しめる、社会人になっても楽しめる、継続できる環境にすることを目標にする。(バスケットコート在市街地に作るなど)		
この調査結果はどうなるの？還元するの？	男性	60代
佐賀市本庄のテニスコートであるが、競技をする中で問題があり、非常にテニスがしにくい。利用者に意見を聞いて問題を解決してほしい。非常にプレーしづらいので至急対応して欲しい。	男性	70歳以上
両親がフルタイムで働く場合、平日にスポーツ教室があっても参加できないので、土日の開催を検討して欲しい。同上の理由で、子ども向けのスポーツ教室を平日であればもう少し遅い時間に開始して欲しい。	女性	30代
陸上の実業団を是非作っていただきたい	女性	20代
施設への交通のアクセスが良いとボランティアとして協力しやすいけど、自家用で行くしかないとなると運転できる間は良いけど、できなくなることを考えると気持ちが重たいです。途中で投げ出す形となるので。	女性	70歳以上
官民の協力	男性	60代
テレビでもっとみたい	女性	70歳以上
スポーツだけでなく、周辺を整備した方が良い。交通アクセス、宿泊、食事、そして子供への支援、スポーツ系の活動無料化（子どもだけでいいので）	男性	30代
健康運動センターが1ヶ所だけなので他にも作って欲しい。メンテ休業中等長期間利用できない	男性	60代
スポーツ施設までの移動しやすさ。駐車場からの（水泳等）アクセス。健康運動センターは使いやすいが、しょっちゅうプールの改修工事がある。盆や年末年始は運動する場所がない。何とかしてもらえれば有難い。	男性	70歳以上
2024年、スポレク祭がよりいっそう盛り上げるためにボランティアで参加し頑張りたいです	女性	70歳以上
私は指導者ではないので専門的なことはわかりませんが、まずは子供達にいろいろなスポーツを体験してもらいたい。予算などの関係もあるかと思いますが、元有名なアスリートなどの体験などがたくさんあれば、いろいろ体験し、その中からでも興味をもってくれたらと思います。	男性	40代
施設の増設、整備、駐車場の整備	男性	70歳以上
地域に特化したスポーツを興しては、若い人が小・中学生の大会を中心に活躍する会場づくりが良いように思う	男性	70歳以上
あまり構えることなく、機会と場所を増やすこととして地道に取り組んでいただければと思います。国スポなどの祭りに左右されること無く、無永にやってもらいたいものです。宜しくお願いします。	男性	60代
各施設のスタッフによる塩対応にはテンションが下がる	男性	60代
アンケートの時期を考えて欲しい。年末の最中にこのようなアンケートをされるのはどうでしょうか（12月30日到着）。担当の人は年末年始の	女性	70歳以上

休暇に入られていると思います。12月初旬か1月に入ってから送付して欲しい。		
指導者に依るパワハラ等を見たり、聞いたりします。今は時代が違います。いい指導者の人選をお願いします。	男性	70歳以上
今回のアンケートを分析して参考にしてから計画を作成されると思うが、よく理解できない。むしろ他県の状態とか好評を行っている市町を調査する方法もあるのではないか	男性	70歳以上
施設の充実や利用料金の見直しをしてもっと市民が利用しやすくする。子供の将来を明るく活気のあるものにできるようにもっとスポーツ振興を積極的に行うべき	男性	20代
普段をPRを見かけないので新聞、チラシ等を利用して関心を高めたいけば飛躍するのでは	男性	70歳以上
eスポーツ、アーバンスポーツをよく理解していないので答えにくかった。60代後半の者には難しい	男性	60代
様々なスポーツに取り組める施設が欲しい(例:スケートリンク)	女性	10代
肩ひじ張らず、色々な階層、年齢にこだわらず、気楽に参加できるシステムを広めてほしい。	男性	70歳以上
スポーツ施設利用者のマナーアップを行ってほしい	男性	60代
目的をアスリートを育てるためではなし。地域のより多くの人々が楽しくスポーツを交流できる環境を整える(※提供する)ことを第一の目的にしてほしい	男性	50代
佐賀県の高校野球水準は他県に比べ高い方だともいます。佐賀市でもより高い精度のスポーツとなるよう支援してもらいたいと思います。高齢者ができるスポーツにも力を入れて欲しいと思います(健康第一)	女性	50代
スポーツに関心を持ってもらう為にスポーツのみに焦点を当てるのは視野が狭い。これだけの人の興味が細分化している時代だからスポーツにプラス食・イベントなどアミューズメント感覚の入り口から間口を広くしないと、スポーツオンリーで盛り上げるのには無理がある。頭を柔らかく。	男性	30代
テレビ番組の「スーパーGTプラス」が中止になってしまったので、またテレビで観たいです	女性	40代
学校運動部活動は地域での活動に移行。と有りますが好きなスポーツを習いたい生徒は外のクラブに入会して学ぶ事ですネ!そこに月謝が発生し「行きたいけど、行けない子供も出てくるのではないのでしょうか?そこは疑問です。	女性	70歳以上
佐賀アリーナが出来た年は佐賀県にとっては良かったと思うが、佐賀県からの来客人数をカウントしているのか?駐車場がないのはとても考えられない。足の不自由な人や子ども(小さい)を連れての観戦が出来ない。また、他県から来る人もホテル不足では佐賀の地域活性化につながらない。佐賀は知名度が低いので、スポーツに力を入れる。今後はスノーボードやクライミングが出来る施設を、佐賀は空き地があるので作っ	女性	60代

て佐賀県の活性化及び知名度を上げて行って欲しい。子育てや住みやすい佐賀県です。バスや電車に乗ればすぐ福岡にいけるので、もと佐賀県の良いところを発信して行ってほしい。佐賀は発信力不足です。空き地を利用してもっと有名にして欲しい。人口も働く場もなければ、人は都会へ流れていく。佐賀県立大学を作っても4年間人口が増えるだけ。後は都会で就職して、人口は減るばかりだと思います。佐賀県立大学をつくらそう受け皿となる職場の確保が必要なのではないか。		
佐賀バルナーズがB1に昇格してたくさんの方がアリーナに押し寄せています。経済効果、地域の活性化につながります。市も県も全体で盛り上げていけたらと思っています。	女性	70歳以上
市村体育館や総合グラウンド東の体育館はこれからどうするの？少子化を解決しない限り、何をやっても無駄です。	男性	50代
スポーツは好きですが、発展させるには佐賀の人口を増やすことだと思います	女性	50代
働いている中高年の人たちが仕事帰りに少しだけ運動していけたり、お年寄りが集まってスポーツを通じて交流できたりするような場所や機会が増えたらうれしいです。例えば、バスなどの公共機関がよく通ってアクセスしやすい場所の空きテナントにちょこZAPや簡単な運動器具を置いた遅くまで開いているカフェなどがあつたらみんな利用しやすいと思います。	女性	20代
気軽に誰もがスポーツを楽しめる場所が欲しいです。	女性	20代
スポーツ施設の拡充とアクセスするためのインフラ整備は重要な問題です。セットで進めていただきたいと考えます	男性	50代
スポーツジムが増えているから、市の施設は維持費がかからないように統合してはどうですか	男性	40代
佐賀県としてのスポーツ振興は、何となく感じるが、佐賀市としてのスポーツ振興はあまりピンとこない気がする。	男性	50代
スポーツを通じた地域活性化を図ってほしい、スポーツが楽しめる環境整備を更に進めてほしい	男性	50代
市民、特に高齢者の間で何が頻繁に行われているのかしっかり調査した方がよい	男性	40代
同時にコミュニケーションが出来る場所づくりも必要と思います。	男性	40代
このGoogleフォームによるアンケートは酷すぎる、正しい回答者の回答ができない仕様。項目によっては不快感を感じる。まるでこちらの社会参加意欲に問題があるような選択肢。せめて自由記述欄は段落式に設定すべき	男性	30代
地域の運動会はやめてほしい。やらされでやっても面白くないし、強制されるのはこのご時世どうかと思う。コンプライアンスに抵触するのは？	男性	50代
校区のスポーツクラブが衰退し、初心者や子どもの受け皿がなくなってきている。スポーツ文化の裾野拡大は、トップチームだけでなく、地域	男性	50代

づくり的な政策も必要かと思う。		
もっと気軽にスポーツが始められたら始めたい	男性	30代
儲かるスポーツビジネスを作りあげましょう！	男性	40代
公園等の看板で見かけるが、高齢者優遇の文言は違和感しかない。やめて欲しい。	男性	40代
既に設置された設備が古い。サビついているものもあると、地域のトレーニングルームを利用して感じたことがある。新しい設備を購入することや、施設の清潔を維持することが求められます。利用人数の増加にも繋がると思います。	男性	10代
スポーツは本当に嫌いで興味がありませんが、健康維持のために苦手とも言ってもらえないのでそういう超スポーツが苦手な方でも参加できるようなレベルの物があったら嬉しいです。スポーツが得意な人と隔たりしか感じずどんどんやりたくなくなります。「チョコザップ」が佐賀に出来たら行きたいと思っています。出来れば兵庫北に出来るように誘致してください。	女性	40代